



あなたの夢は  
なんですか？

2015

夏

号

かすかばらいぶ

—夢を抱いて送る毎日を—

## はじめに

受験生のみなさん！春日エリアへようこそ！  
かすがらいふ編集委員会委員長の秋山純輝です。

情報メディア創成学類や知識情報・図書館学類ってどんなところなの？という  
多くの興味と期待を胸に、今日、この冊子を手にとられているかと思います。  
本誌「かすがらいふ」はそんな皆さんに春日エリアでの生活を紹介するために毎年制  
作されている情報誌です。

講義内容の紹介や、合格体験記、生活体験記など、春日エリアでの生活に関する  
様々な内容が掲載されています。

みなさんに楽しんでいただける内容となっていますので、ぜひご一読ください。  
本誌を通して、春日エリアでの生活（かすがらいふ）を少しでも感じていただけたら  
幸いです。

来年の春、皆さんとお会いできることを楽しみにしています。

2015年度かすがらいふ編集委員会  
委員長

## 目次

1. 学類紹介	p.4
2. 授業紹介	p.8
3. 専攻紹介	p.18
4. ゼミ	p.21
5. 合格体験記	p.23
6. 生活体験記	p.43
7. 学費・宿舍・奨学金	p.56
8. サークル	p.57
9. アルバイト	p.58
10. 筑波大学の1年間	p.59
11. 筑波大学の施設	p.60
12. 春日エリアの施設	p.62
13. 附属図書館	p.64
14. 用語集	p.65

# 1. 学類紹介

## 情報メディア創成学類

学類長 平賀 譲

「情報メディア創成学類って何ですか?」、「どういう勉強をするのですか?」、「卒業したら何になれるですか?」……よく聞かれる質問です。受験志望者だけでなく、入学した学生からも聞かれます。これに対する(かしまった)答えは、学類のパンフレットや Web ページに書いてあります。短く縮めてしまえば、「これからのネットワーク情報社会を発展させるために必要な基盤的な技術、とりわけ多種多様な情報内容を扱うコンテンツテクノロジーや、それを提供・伝達するためのネットワークメディアについて学び、それを生かした専門的技術者や研究者を目指す学類」です。どうもよくわからない? そうかもしれません。納得してもらおうのはなかなか難しそうです。

なぜわかりづらいか? 理由はいろいろありそうです。その1つは「どれだけ見えているか」。人は結局、自分の知っていること、興味を持つことからしか物事を理解できません。例えば Web ページを見るとき、普通のユーザなら知りたい内容、つまり「コンテンツ」に目が向きます。見つけたいことは検索サイトで探します。これらがどう作られ、どのような仕組みで動いているのか、どこをどう伝わってくるのか、考えたりはしません。ましてどれだけの人たちが運用を担っているのか、どれだけの研究や技術が積み込まれているかは意識さえされないでしょう。表示されるコンテンツは文字、図形、写真や動画、音など様々な形態をとり、それらが複雑に組み合わせられています。検索が役にたつには膨大な情報を集め、そこから有益な情報を取り出し、提供する仕組みが必要です。そもそもそういった情報が地球規模で瞬時にやりとりできるためには、それを支える巨大ネットワーク(いわゆるインターネット)が休みなく動き続けなければなりません。そういった背景をどれだけ知っているか、関心を持つかで、わかり方の度合いが違ってきます。

上は web ページを例にあげましたが、いわゆるコンテンツ産業(アニメ、ゲーム等々)でも同じです。表だつた華やかな面の背景には、膨大なスタッフ、技術やツール、それにつながる基礎的な研究があります。別にコンテンツ産業といわず、どんな産業や社会の活動でも同じことです。

情報メディア創成学類に入学したなら、まずそういった背景、とりわけコンテンツやネットワークに関わる面に意識を向けてください。それを支える様々な仕組みや技術、理論や考え方について、学習し、理解してください。それを踏まえて、自分が関心を持った分野について、知識や技能を生かした職業に進むのもよし、自分自身で先端の研究や技術開発を押し進めるのもよしです。その時点で改めて、「情報メディア創成学類って何(だったの)?」と自問してみるといいでしょう。

始めに戻って、わかってもらいにくいもう1つの理由は「我々にもわからないから」です。無責任だって? まあそうも言えるかもしれませんが、ちょっと違う話です。現在のネットワーク社会は、新しい業種やサービスが次々と生まれてくる渦中にあります。その多くは実を結ぶことなく消えていきますが、真に力のあるものは社会に定着し、さらには社会そのものを変革していくインパクトがあります。今は存在しない新しいものを作りだす斬新なアイデアやそれを実現していく努力は、あなた方自身が進めていくものです。我々はその手助けとなる知識や技術、さらには考え方や研究方法を教えることはできますが、その結果何が生まれてくるかは我々にも「わかりません」。

新しいものを作りだすというのは大変なことです。特に今の世界は昔とは比べ物にならないほど個人の力が大きく発揮できる一方、すべてが競争にさらされる厳しい社会になっています。そこで伍していく力を養うには、授業を通じて学べる部分もある一方、それだけでは決して十分ではありません。より専門的な知識や能力を身に付けるために大学院進学は是非目指してほしいところです。また教員や学生仲間、さらには様々な分野の人たちとの交流を通じて学べることも極めて多くあります。とりわけ、同じ世代で同じ意識をもった学生仲間間で切磋琢磨していくことは有益です。実際、本学類の学生の中には在学中からでも学会発表、コンテストや公募事業での入賞、様々な社会的活動、ベンチャービジネスの起業など、多様な活躍をしている人が数多くいます。

その点から言うと、よくある質問のもう1つのパターン:「XXX になれますか?」について(XXX にはゲームクリエイターとかアナウンサーとか様々なものが入ります)。これ、答えように困る質問です。そもそも職業とか専門とかは「なれる」ものではなく、自分がそれを目指して「なる」ものでしょう。要は大学で学んだ知識・技術・能力をどのように生かしていけるかです。例えば本学類が(アニメ、ゲーム等の)クリエイター養成を目指す学類かと言えば、これは明らかに違います。しかし養った力を生かしてそういった方面に進むのは自由です。自分にとって何が必要かを考え、それを着実に身に付けていき、新しい情報の世界を切り開いていこうというチャレンジ精神旺盛な学生を情報メディア創成学類は歓迎します。

以上、学類の教育や進路といった点から書いてきました。この「かすがらいふ」にはそれだけでなく、入試、サークル、学生生活といった大学生にとっての様々な面についての情報が満載されています。それらも踏まえて、是非筑波大学、さらには情報メディア創成学類への入学を考えてもらえば幸いです。

## 知識情報・図書館学類

学類長 長谷川 秀彦

大学とはどういうところでしょう？学問をするところというのは、正しい理解ですが、自宅でひとり専門書を読みふけて学問をすることはできないのでしょうか？インターネットを活用すれば、自宅に居ながら世界とコミュニケーションすることができます。大学では、体育もあれば語学もある、何でやらなければいけないんだろうという科目も必ず付いてきます。聞いていて面白い先生の科目もあれば、内容がちんぷんかんぷんで課題がきつい科目もあります。わざわざ好き好んで、嫌いなことにまで時間を使うのはどうしてでしょう？高校を卒業する頃には、みなさんの知識は一人前になっていて、大学に行かなくても学問をする準備は整っているはず。安くはない授業料を払って大学に行くのはなぜでしょう。少し、考えてみてください。

大学教員としては、「大学でしか学べないことがある」と声を大にして言いたい。確かにひとりで学問することも可能でしょう。しかし、理解したこと、考えたことを誰かに話して確認したり、間違いを正したりする機会は必要です。メールやチャットでも可能かもしれませんが、やはり場を共有したりリアルな対話に勝るものはありません。大学というところは、似通った興味や方向性を持った人の集まりで、そこでは独学よりも効率的に学問を修めることができます。ただし、興味や方向性は細かく分化しているので、自分に合った場を探し求める必要があります。効率的であるためには、あとから必要になるであろう関連分野の知識なり、できれば避けたいと思うようなこと（本人が気付かない）将来のロスを避けるためにセットとして学ばされます。大学では、好きなことが学べると同時に、（おそらく自分には）興味の薄いことも学ばされます。対話を通じて学ぶことが大きなウェイトを占める以上、そこにいる先住民（教員や先輩）とはうまくやっていけないと困ります。また、環境だって大事です。治安の悪いところではないか、自宅から無理なく通学できるか、住みやすい街なのか、などなど。

高校までとは違い、大学のメニューは無数です。選択肢が多すぎて、どうしようか迷ってしまうのは当然のことです。大いに迷ってください。そして、最終的には自分で決断してください。条件をいろいろと吟味したうえで「自分で決断する」のは非常に重要なことです。人のお勧めに従うのも OK ですが、決断はあくまでも自分です。そのくらいの覚悟は必要です。ここでの選択によって、この後の人生も変わってきます。もちろん、やり直しはいくらでもできますが、過ぎ去った時間は取り戻せない、ロスは少ないほうがよいでしょう。



さて、最もふさわしいところを選ぶには下調べが必要です。ガイドブックで調べたり、インターネットで調べたり、年長者の意見を聞いたり、いろいろな調べ方があるでしょう。しかし、フレッシュな情報を得るには、そこへ行ってみるのが一番です。筑波大学は開かれた大学で、塀もなければ、門もなく（春日エリアには門がありますが、門扉はありません！）、構内はいつでも自由に歩き回れます。しかし、一般の大学で、勝手に入り込んでうろろしていれば怪しまれます。大学には、貴重なものもあれば、危険を伴うものもあるので、いつでも誰でも入り込めるわけではありません。そうすると、大学を堂々と歩き回る機会は、学園祭か、大学説明会ぐらいでしょう。

今日は大学説明会、大事なことは自分の五感で大学を感じることでしょう。4年間という日時と多額の学費を払うことになるかもしれないので、自信を持って選択できるよう情報収集に励む必要があります。せっかくここまで来たのですから、自分から積極的に質問してみましょう。できれば配られる資料に目を通して、深い質問ができることを期待します。とはいえ、ドッサリ資料が配られて、短時間であれこれを見ないといけないので、なかなか難しいとは思いますが。度胸試しのつまらない質問でもかまいません。ぜひとも、学生なり、教員なりに話しかけてください。大学で学問をするには、コミュニケーションが重要です！

「かすがらいふ」は、丁寧すぎるくらいの記述で書かれた「学ぶこと」と「生活すること」のガイドです。すべてがこのとおりとはいかないでしょうけど、「こんなこと学びたい」、「こんな生活したい」というチョイスの参考にはなることでしょう。知識情報・図書館学類と情報メディア創成学類、筑波大学春日エリアについての興味が深まってくださればそれは嬉しいことですが、そうでなくともわれわれがここで何をしているかを知って頂くことは大なる幸せです。

大学時代には、大学という場でしか得られない体験があります。大学時代の経験、友人は一生の財産になるはず。たった数時間の大学説明会でもそれなりの経験ができるはず。どうか、有意義な時間をお過ごしください。

# 2. 授業紹介

大学の授業ってどんなもの？

春日の学生はどんなこと勉強するのかな？

そんなあなたの疑問に少しではありますがお答えします！

今回の紹介はあくまで執筆者の受講した講義の印象ですので、参考程度にお願いします。

※以下の文中では知識情報・図書館学類を「知識」、情報メディア創成学類を「メ創」と表記します。

## 共通科目

全学類共通科目

### ⊕ 英語

情報学群の3学類（知識情報・図書館学類、情報メディア創成学類、情報科学類）合同で講義があります。4月に行われるプレイメントテスト（クラス分けテスト/マーク式）でA1～C2の6つのクラスに分かれます。英語がすごくできる人はSクラスなんていうクラスにいきます。どのクラスも予習・復習が大変なものは大変だし、楽しいものは楽しいみたいです。正直、先生と使用する教材次第です（今年は教材に『シャーロック・ホームズ』を使っているクラスもあります）。これは講義を受けてみないと何とも言えないところではあります。

講義は週に3回あり、それぞれ読み書きや聞き取り、会話の学習をします。高校で身に付けた英語の能力が衰えてさえいなければ、どうにかかります…多分。でも思っているより英語力は衰えているものなので、入学試験合格後も少し勉強しておいたほうが良いと思います。特にAC、推薦合格者は、合格してから入学までの間が長いので、勉強しておかないと、苦しむことになるかもしれません。

### ⊕ 体育

「え、大学って体育あるの？」…あります。

1年生と2年生の必修科目です。学期ごとに種目を選択して受講します。運動が苦手な人でも初心者向けの種目を選べばとても楽しいです。そして筑波の体育ではニュースポーツ、フィットネス・トレーニング、シューティングスポーツなど普段聞きなれないような競技も体験できちゃいます！

運動設備が揃っているので体育は充実していますよ。

## 第二外国語

知識は必修、メ創は必須ではないが受講可

### ⊕ ドイツ語

ドイツ語は週に2コマあり、一方は文法、もう一方は会話を主に勉強します。文法は教科書を読みながら講義を聞き、練習問題を解いて、と、中学の英語の授業と似たようなものです。試験はペーパーテストで、文法学習の確認が主です。辞書がないと解けない問題も多いので、辞書持込み可。会話の方では表現を覚えて、クラスメイトや先生と実際に受け答えをすることを主に行います。試験ではペアの子と指示された内容の対話をしました。学年末にはドイツ語検定もあるそうです。

### ⊕ フランス語

フランス語は二つのクラスに分かれます。フランス語の授業は会話中心です。私の受講している先生はフランスのあれこれについて教えてくださる、面白くて素敵な先生なので、講義が楽しいです。授業の雰囲気が良い感じなので、私は講義中リラックスできています（笑）。テストは、頑張りましょう。

### ⊕ 中国語

中国語は文をみて意味はだいたい分かって、発音が難しいです。春学期の半分くらいは発音練習だけに費やしました。課題は予習で語句と読み方調べ、復習で練習問題がありました。テストは教科書から出題されるので、形式を知ればそこまで難しくありません。最後に、中国語履修者の鬼門、アチーブメントテスト（学習の到達度を確認するテスト）は実施日が近くなると授業で解説を受けますが、こつこつ勉強していないとつらかったです。

### ⊕ ロシア語

ロシア語は第二外国語の中で一番人数の少ない言語です。他の第二外国語はクラスが分かれていたりするのに比べ、ロシア語は1クラスでも席が余るほどです。そのため先生との距離がとても近い講義で、よく話しかけられます。課題は毎週出たり出なかったりしますが、プリントを読んできたり埋めてきたりする簡単な課題です。テストは講義をちゃんと聞いていれば解ける問題なので、文法さえ覚えてしまえば割合楽です。何より楽しいので、迷ったらぜひロシア語にしてみませんか？

### ⊕ スペイン語

スペイン語は発音の際の規則が多いですがそれに慣れてしまえば発音自体は英語よりも容易です。スペイン語は週に2コマあり、一方で文法を勉強し、もう一方では実際に問題を解いていきます。それぞれ先生が違い、スペイン人の先生もいらっしゃるので本場の発音を知ることが出来るでしょう。

※この他にもアラビア語、朝鮮語なども受講可。ただし知識では必修科目の単位には含まれません。

# 総合科目Ⅰ

全学類共通科目

総合科目Ⅰの対象は新入生で、2単位を必修としています。新入生が大学に慣れ、自分で大学でのプランを立てられるようにサポートする科目です。通称大学問と呼ばれる「筑波大学特別講義—大学と学問—」など、自由に履修することのできる複数の講義がありますが、ここでは知識やメ創の必修科目であるフレッシュマンセミナーについて紹介します。

## 田 フレッシュマン・セミナー

通称フレセミ。筑波大学はクラス制度を導入していて、知識は4クラス、メ創は2クラスに分かれており、そのクラスごとにフレセミが行われます。高校のHRのような感じで、クラスメイトと交流して仲良くなったり、担任の先生の話や先輩や支援室（事務組織）の方の話や、中央図書館の見学に行ったりもします。クラスの人たちとは長い付き合いになるので、ぜひここで友達をいっぱい作りましょう！

# 総合科目Ⅱ

全学類共通科目

総合科目Ⅱは一、二年次生を主な対象としています。自分の学類以外の講義を受けられるのが筑波大学の特色であり魅力の一つですが、特にこの総合科目Ⅱでは、様々な学類によって開講された100科目以上の中から好きな講義を選んで受講することが出来ます。ただし、学生の広い視野を養うためにABCの3種の科目群の中でAとBからそれぞれ2単位以上、ABC合わせて5単位以上を取る必要があるので注意しましょう。

来年度も同じ講義が同じ内容で開講されるかはまだ分かりませんが、今年度開設された授業の一部を紹介します。詳しくは来年度の総合科目シラバスをご参照ください。

## 科目群 A 一物質、数理、生命等に関わる科目で概ね理系分野一

### 田 皮膚に詳しくなる - 健康で美しいお肌に -

総合科目Ⅱは定員を超えた場合、上級生より一年生が優先的に履修できるように調整するのですが、毎年希望者がかなり多く一年生でさえ履修できない可能性があるほど人気な講義です。なんと、毎回の講義の度にお肌に優しい石鹸や保湿オイルなどの薬用品が配布されます。成績評価はテストですが、成績優秀者にはご褒美もあるようです。

### 田 森林

複数の先生によるオムニバス形式の講義で、森林の役割、病気の広がり方、日本とオーストラリアの森林におけるスキー場の違いや「ロシア人は森林から何を学んでいるか？」まで幅広く教えていただけます。プリントの配布もありますが主にスライドを用いた授業なので、置いていかれないようにするには集中力が必要です。

### 田 フィールドに学ぶ食と緑Ⅰ ~ 食料生産と緑資源育成 ~

一つのテーマにつき、講義と実習をコマずつ行います。田植え、木の伐採の見学、農業機械の運転・見学、牛のブラッシングとお散歩など、様々な内容の実習を体験することが出来ます。毎回出席し、テストを受けるだけで単位は取ることが出来ますが、テストでいい成績を取りたいなら講義をしっかり聞く必要があるそうです。

## 科目群 B ー精神、文化、社会、歴史等に関わる科目で概ね文系分野ー

### ▣ デザインと社会 1

デザインに何ができるのか?ということを中心に、デザインと社会の関わりについて、環境デザイン・建築デザイン・プロダクトデザイン・情報デザインなどの視点から考える授業です。実例のスライドを見せながら、先生がたくさん話します。加えてテストは記述式という一見ハードルの高い授業ですが、毎年受講希望者が定員オーバーする人気授業です。

### ▣ 古典に学ぼう - 日本・中国編 -

文系には癒しの時間。先生方がオムニバス形式で、それぞれ「日本中世の古典」「三国志演義」「古事記と日本書紀」「陶淵明」などの様々な日本と中国に関する古典について語ってくださいます。興味がある人にとっては楽しい話がたくさん聞けて面白いはず。古典が好きな人はぜひ。期末試験あり。

### ▣ 知的財産のしくみ (著作編)

その名の通り著作権についての授業で、知識開講の講義です。中学校や高校で習った著作権についてより詳しく学ぶことのできる授業ですが、大学生が触れることの多い学術論文に関する内容が中心になっています。ちなみに受講希望者が定員を超えた場合、知識の人から履修できなくなりますので要注意。

## 科目群 C ー文系と理系が融合した、より広範な主題からなる科目ー

### ▣ 競馬の世界

この授業では、賭け事ではなく、スポーツ競技としての競馬を学びます。割と多くのレポート課題が出されるようなので、提出を忘れないように注意する必要がありますが、東京にある国立競馬場に見学に行き、実際に競馬を見たりトップ騎手の方と握手したりもできます。このような貴重な体験ができるのは筑波大学だけです!!

### ▣ 心の実験室 1

6人の先生方によるオムニバス形式の講義で、母と子の絆、心理学と脳科学、心理学や認知工学から見たデザイン、トラウマの消し方などなど、心理学について様々な内容を学ぶことが出来ます。成績評価はテストですが資料の持ち込み可。6人の先生がそれぞれ出題し、その全ての設問に回答する形でした。

### ▣ スポーツを変えた発明

スポーツ界にはすごい「発明」をした先人たちがいた!それらの発明がなかったら現代のスポーツの繁栄は築けなかった!バスケットボールの誕生、高跳びの背面跳び、野球の変化球…他にもラジオ体操の歴史や水分補給の通説の変化などそれぞれの分野の最前線の先生から為になる面白い話が聞けます。成績評価はレポート提出。

## 総合科目Ⅲ

全学類共通科目

さて、最後に総合科目Ⅲについて説明したいのですが…実はこの総合科目Ⅲ、今年度より開講された科目であることに加え、標準履修年次が三、四年次であるため実体験が紹介できません、ごめんなさい。しかし、この科目は必修科目として1単位を必ず履修しなければならないため、三、四年次生になった時に忘れずに履修するようにしましょう。ちなみにDEFGの4種の科目群に分かれており、総合科目ⅠとⅡの科目群ABCそれぞれの発展的な内容になっているようです。

# 情報メディア創成学類の科目 専門科目

## ⊕ 情報数学

情報数学では主に、集合・命題についての考えや、その考えをコンピュータに理解させるための方法を学びます。講義は2時限連続で行われ、1時限目に講義、2時限目に演習（教科書の演習問題）と小テストをやります。この科目は高校でやった数学Aの「命題と証明」の発展と思われるものも扱っていますが、大抵は新規に覚えるものばかりです。

## ⊕ 解析 I

解析とは、つまるところ微分積分の応用です。微積なんて高校生で終わりだと思っていたあなた、メ創へようこそ！やはり大学の数学、読めない文字や記号がやたらめったら登場します。しかし要は単なる微積です。しっかり定義を確認しながら、使っていく練習をするとよいでしょう。長い定義も段々と覚えて使えるようになります。

## ⊕ コンピュータリテラシ・ コンピュータリテラシ実習

この2つの授業は基本的には同じ授業として扱われ、皆さんもよく知るインターネットの使い方からHTMLによるホームページ制作や、Linuxの操作方法などといった人によってはあまり馴染みのないことまで学びます。コンピュータリテラシでは、コンピュータがどう動くのかなどを理解するために2進数や論理回路などについて知識として学び、コンピュータリテラシ実習では実際に手を動かすことにより実践的な面を学びます。

## ⊕ 線形代数 I

線形代数では、主にベクトルや行列についての考えを学びます。講義は2時限連続で、1時限目が講義、2時限目が演習となっています。ベクトルは数学Bで扱うベクトルについての復習が中心ですが、行列では数学Cで扱うものよりも新たに出てきた考えなどを中心に扱うため、数学Cと同じだと思って取り組むと頭が混乱します。

## ⊕ 教養と科学

メ創に所属している教員や外部の方が、自分の研究を題材にして紹介講演を行います。講演者との質疑やレポートなどによって、学類に関連する技術や研究の動向を学びます。この授業のなかで自分が研究したいことを見つけていくのもよいかもしれません。

## ⊕ コンテンツ応用論

社会の第一線で活躍していらっしゃる方々をお呼びして講演をしていただくオムニバス講義です。ゲームクリエイターや映画監督、プロデューサーやメディアアーティスト、コミュニケーションデザイナーやビジネス産業など、様々な業界から錚々たる講師の方々がいらっしゃいます。質問をしたり自分を売り込んだり目標ができたりと、自分を見つめ直すいい機会でもあります。

## ⊕ 情報メディア概論

これから4年間にわたって学ぶべきことの、はじめの一步をつまみ食いしていくような授業でした。Rubyを使ったオブジェクト指向とか、PL/0を使った計算機の原理とか、Javaを使ったGUIプログラミングとか、HTTP通信とか、HTML5/CSS/JavaScriptとか、SSHとか。

理解できなくてもまず手を動かそう、というモットーのもとコードをひたすら書き写すことの多い授業でした。(何か1つ詳しく調べて学期末にレポートを書く必要はありますが)。

企業のセミナーもありました。AdobeとかWolfram (Mathematicaの)とかAppleとか。

毎回白紙の紙を渡されて感想や質問などを自由に書き込んで提出することで出席を取っており、次の授業のスライドの中で回答してもらえます。

## ⊕ コンテンツ表現演習

この授業は画像処理について学ぶ「平面表現」と構成力を養う「空間表現」に分かれて行います。「平面」では、画像処理ソフトを使ってポスターを作ります。線の引き方や写真加工といった基礎的なことから教えてもらえるので、初心者でも全然心配ありません。毎週の課題は楽なものではありませんが、しっかり毎週こなして先生の評価を真摯に受け止めていけば、素人目にも明らかほど技術が向上します。

「空間」では、チームでのモビール制作を通じて空間デザインを学びます。毎週試作を提出して評価を受けなければならず、多くのチームが授業時間外にも集まって制作を行なっています。作業量は非常にシビアですが、そこで得られる団結力や空間デザインに対する造形感覚は絶対に将来の役に立つでしょう。最後には各々の作品を春日の施設内に飾る「もびいる展」を行い、招待状なども自分たちで用意して外部の方に見てもらいます。

なお、二年次に「情報デザインI・II」を履修したい場合はコンテンツ表現演習の履修が必要になります。

# 知識情報・図書館学類の科目

専門科目

## ⊕ 情報基礎

パソコンやネットワークといった情報技術の仕組みについて学びます。自分はパソコンだから……( ω \ ) という人も大丈夫。先生が基礎からやさしく丁寧に教えてくれます。終始穏やかな授業の雰囲気は、レポートやサークルに忙殺される学生たちの大きな癒しです (\*´ω`\*)

## ⊕ 情報リテラシ実習

あなたはグループでプレゼンテーションをしたことがありますか？あなたは自分のおすすめの場所などについてパンフレットを作ったことがありますか？この授業はリテラシ、読み書きの能力を向上させるのはもちろん、人前でプレゼンテーションをしたり、自分の作ったパンフレットの魅力を紹介したりします。

## ⊕ 情報数学

情報技術を扱うために必要な数学を学びます。内容としては、論理と集合やベクトルなど数学 A・B の分野に近いです。毎年、文系理系問わずこの授業に苦戦するといわれています……( ； )。先生の丁寧かつ、論理的な解説をしっかりと聞きましょう(´ω´) そして、テストに向けて助け合いの輪をつくりましょう。

## ⊕ 図書館概論

図書館について学びます。知識に来る人には図書館に興味を持っている人が多いですが、この授業を受ければ図書館の役割や活動の豊富さに驚くでしょう。先生が世界各地の図書館を紹介してくれるので、きっと新鮮な経験が得られるはずです (・ω・)/

## ⊕ 知識情報概論

普段私たちが何気なく扱っている知識や情報の本質について学ぶ授業です。「知識のフレーム」や「ドキュメント」など知識情報学、図書館情報学の専門用語が頻出し、その扱う内容ゆえに哲学チックな授業なので、好きな人にはたまらないはず。回を重ねるごとに、この授業の味がくせになってきます。……時々○○概論になるのは内緒 (- ω -)

## ⊕ 統計

統計って言われても何の事だかさっぱり……という人もいるでしょう。でもスタートはみんな同じようなものです。平均、中位数、最頻値というちょっと聞きなれないものから、ある仮説が正しいかどうか検定をしたりします。世の中には嘘つきなデータが転がっています。この授業を通して、あなたの統計データを見る目も変わることでしょう。

## ⊕ 基礎数学 A

高校数学で III C を履修していた人はおなじみ、そうでない人は微分・積分の応用と考えたほうがわかりやすいかもしれません。今まで何気なく扱ってきた関数や無限の概念を理解し、他の関数や微分・積分との関係を考えます。情報数学は論理や集合、ベクトルが中心でしたが、こちらは関数などが中心です。

## ⊕ 情報基礎実習

パソコンの基本的な使い方と、レポートの書き方について、しっかりと学ぶ授業です。毎週レポートが出されますが、中々にハードです……。提出日前日には多くの学生が実習室で唸っていたりします。しかし、確実に大学でも、社会に出ても役立つことなので、サボらずきちり受けましょう！レポートで A 評価が付くと嬉しいですよ！

## ⊕ 哲学

ミレトスの自然哲学から論理実証主義までを学びます。高校で倫理を選択しているみなさんはより深く学ぶことができますし、そうじゃない人はソクラテスの考え方を理解することから始め、さまざまな思想を見ることができます。先人たちの思想を知り、さらに自分の思想を深めることができるかも。

## ⊕ プログラミング演習

「え、プログラミング？」と目を疑って人もいるでしょうが、間違いなくプログラミングです。知識を共有するシステムにはプログラミングが欠かせなくなってきています。教室にいるかなりの人数がプログラミング初心者なので安心してください。プログラミングはパソコンとにらめっこしたり、テキストを見ながら自分で考えたりと自分との戦いになることが多いですが、先生や先輩、友だちが協力してくれることもありますのであきらめないで！

※専門科目とは、各学類がそれぞれの学類生に向けて開講している授業のこと。

# 3. 専攻紹介

前のページまでは1年次で行われる講義を紹介してきました。

知識には三つの主専攻があり、3年次になると、「情報資源経営主専攻」「知識科学主専攻」「知識情報システム主専攻」のいずれかに属します。「情報資源経営主専攻」は社会に、「知識科学主専攻」は人間に、「知識情報システム主専攻」は情報技術にそれぞれ焦点を当てています。

ここではそれぞれの専攻について紹介します。

※知識のみの紹介となります。

## 知識情報システム主専攻

春学期必修である知識情報システム実習では、グループごとに出したアイデアを元にシステムを開発し、プレゼンテーションを行ったり、HTML5を用いたアプリケーションの作成などを行ったりします。その他に主専攻で開設している科目には、Webプログラミング、情報サービスシステム、知識資源の分析といった、システムを設計する際の考え方やそれらを構築するための技術、システム内でのデータの扱い方などを学び、習得する科目が中心となっています。

### ▣ Web プログラミング

この授業は講義と演習の2本立てで行われます。まず講義でサーバ側プログラミングやクライアント側プログラミングの基本的な事項を学習・理解します。その後、Webの機構を用いて情報提供をするようなプログラムを、演習として実際に作成します。座学では理解しきれないことも、実際に演習をすることで、楽しく考えることができます。演習は全部で3回あり、そのうち2回レポート課題が課されます。テストは論述形式で、様々なWebの機構等の原理や仕組みへの理解が問われます。

### ▣ 知識情報システム実習

この授業は、基本的にシステム構築を行うことが中心になっています。春学期は、前半はグループに分かれデータベースを使うシステムを構築し、後半は個人でHTML5を使ってゲームや予定表などを作成し、最後に発表します。秋学期は「電子図書館」「電子書籍」「Java」の3グループに分かれ、それぞれの課題を進めていきます。プログラミングなどが苦手でも、グループの仲間と助け合って作成するので、とても楽しい授業です。

## 情報資源経営主専攻

この主専攻は平成27年度から名前が新しくなりました。以前は「情報経営・図書館主専攻」という名前でしたが、学んでいる内容をより分かりやすく伝えるためにこのような名前になりました。学ぶ内容は今までと変わりません。

情報資源経営主専攻では、世の中に溢れる「情報」について「社会」という切り口から考えていきます。何も整理されていない膨大な「情報」が目の前にあるだけでは、人々がそれらを満足に活用することはできません。「情報」を体系的に整理・運用(≒経営)した「知識情報」として人々に提供する環境作りが、現代社会では求められています。その実現を目指す人材になるために必要なことを学んでいるのが、この主専攻です。情報提供環境の1つとして図書館を捉えているので、もちろん図書館についてもかなり専門的なことまでたくさん学べますが、決して図書館についてだけ勉強しているわけではありません。様々な組織やコミュニティにおいて「知識情報」を保存・管理・提供するためのノウハウやそれらを機能させるための社会的制度、今あるそれらが形成されるまでの歴史的・文化的背景など、本当にいろいろなことが学べます。「図書館をよりよくしていきたい！」という人から、「情報」という角度から教育や文化について考えたい！」という人、「古典籍や漢籍を後世に残していくことについて考えたい！」という人までこの主専攻の学生の興味は様々です。

以下はそんな経営主専攻開講のおすすめ講義です。

### ▣ 情報資源経営実習

3年次に経営主専攻全員が履修する科目です。プレゼンテーション形式での論文講読とグループワークを通して、図書館情報学という研究領域の全体像を理解していきます。図書館情報学の領域には多様なテーマがあります。自分が興味のあるテーマについてみんなに共有することで自分自身の理解も深まりますし、同時に他の人の興味のある分野についても聴くことができるので新しい発見もあります。一、二年生で勉強してきたことを踏まえて研究に繋げていくための入り口のような授業です。

### ▣ アーカイブスの構築

日本アーカイブズ学の概要を学ぶ科目です。情報メディアとしての記録資料(古文書・公文書等)の意義・歴史・機能やそれらを取り扱う上で必要な基礎知識について先生が授業に持ってきてくださる資料の実物や写真を見ながら講義を受けていきます。この授業の魅力は何と言っても先生です!もちろん講義内容もとても興味深いですが、先生のアーカイブズ学への情熱をひしひしと感じます。

## 知識科学主専攻

おそらく一番何をやっているのかが分かりにくそうな知識科学。そこではどんなことをやっているのでしょうか？知識科学主専攻は「人間」に着目します。知識科学主専攻では、知識・情報と人間とのかかわりについて学ぶことができます。これだけだと漠然としていて分かりにくいかもしれませんが、具体的には、「そもそも知識やら情報って何なの？」とか、「私たちはどうやって情報を探すんだろう？」といったものです。

さて、これらの疑問を解決するには、さまざまな分野の知識が必要です。そんなわけで知識科学では、文系・理系を問わず、非常に幅広いジャンルの授業が開講されています。

### ▣ 知識科学実習

知識科学実習では、数週間ごとに担当の先生が変わり、質問紙調査や Moodle を用いた e-learning 教材（電子教材）作成などいくつかのプロジェクトに、主にグループワークで取り組みます。主専攻の仲間と一緒に知恵を出し合い、協力して仲良く授業を進められるのが魅力的です。前述したプロジェクトのほかにも統計処理ソフトの SPSS や R などを用いてあれこれ分析したり計算したり。2年生までに学んだことを活かす場でもあるので、研究で質問紙調査をするときの前提知識として量的・質的調査法を履修しておくことをお勧めします。

### ▣ テクニカルコミュニケーション

皆さんマニュアルってご存知ですよね？携帯電話やテレビを買ったときや、お家にある電化製品が壊れたときに、引っ張り出してきて頼りにする“あれ”のことです。“トリセツ”とも言いますね。マニュアルには製品の使用方法・手順や困ったときの対処法などが載っています。この授業では、ズバリ、専門情報を正確にわかりやすく伝える方法を、マニュアル制作を通して学んじゃいます。演習では Twitter も使うので楽しいですよ！

# 4. ゼミ紹介

情報資源経営主専攻 逸村研究室

### ▣ はじめに

知識の学生は、四年次に卒業研究に取り組みないと卒業できません。入学してから三年次までに数十人から数百人を対象とした講義を受けて必要な知識を身につけます。三年次の11月頃に教員の研究室へ配属決定が行われ、卒業研究を完成させるために少人数による議論や個別指導が行われます。これがいわゆる「ゼミ」です。

### ▣ 卒業研究とゼミ

卒業研究とゼミについて、私が所属している逸村研究室を例に説明します（逸村先生は、知識の一年生が最初に受けるであろう「情報基礎実習」の担当教員です）。卒業研究のテーマは、研究室によりますが、指導教員が指導可能な手法・範囲であれば何でも選べます。今年度の逸村研究室では、大学図書館における図書館利用教育の研究、公共図書館における音環境の調査、大学生が大学院に進学する際に取り取る情報行動、ソーシャル系大学の実態調査など、さまざまなテーマを扱っています。逸村研究室には学類生から博士後期課程の大学院生、留学生や社会人院生と、多種多様な背景や興味を持った学生が集まります。先生や学生のスケジュール、学会発表、卒業研究の発表準備等の事情により、ゼミの開催頻度は隔週から週2と変動します。

最初に、研究したいテーマの先行研究や関連研究について、研究手法や内容をまとめて研究に関する知識を身につけます。研究テーマが決まってからは、各自の進捗状況報告を行います。指導教員にコメントをいただいたり、大学院生の先輩方から意見を聞いたりしています。卒業研究の中間発表会や最終発表会が近づくと、ゼミで発表練習を行います。スライドの作り方、資料のフォーマットなど、各研究室によって特徴がありますので、それらはゼミの中で自然に学ぶことになります。

なお、他の研究室では、輪読（同じ本について担当する部分を決め、その部分の内容についてまとめて発表）をしたり、ゼミ生の興味の方角について全員で話し合い、参考文献を提供しあったりと、また少し違うことをしています。個人ゼミが中心だったり、集団ゼミが中心だったりしますが、頻度は週に1回のところが多いです。指導教員がいないときでも、学生が自主的にゼミを行ったり、反省会をしたりするところもあるようですが、その年のメンバーによります。やりたいことがあれば周囲の人をどんどん巻き込みましょう。

# 5. 合格体験記

## 研究室ってどんなところ？

研究室によって異なるため一概には言えません。逸村研究室では各自 PC と机が与えられており、プリンターやスキャナー、研究に関する学術雑誌や書籍を所有しています。実際に作業する場所は自由で、図書館や自宅で研究を行う人もいます。

また、大学のゼミというと、「合宿」のイメージがある人もいるでしょう。発表会を日夜行い質疑応答の力を鍛えるところもあれば、研究のリフレッシュとして旅行をメインで行う研究室もあるようです。私は一年生の時に逸村研究室のゼミ合宿に参加しましたが、学類生や大学院生の研究発表に参加することができ、その後の大学生活を変えるほど大きな影響を受けました。興味があれば先生方に声をかけ、ゼミの見学や合宿に参加させていただくのもよい経験になると思います。

卒業研究やゼミは大変つらいものに思われるかもしれませんが、研究室の先生や先輩方との会話をしたり、研究テーマについて誰にも負けない知識を身につけたりするのはとても楽しいです。この記事を読んでいる高校生の皆さんや在学生在が、研究室に訪れるのをお待ちしております。

## 「春日民になりたい！」

そう思う方もいらっしゃるでしょう。頑張ってください！  
かすがらいふ編集委員会一同応援しております!!  
でも、ふとこんな疑問にぶち当たるのではないのでしょうか。

## 「受験ってどうすればいいの？」

それはみなさんが一回は持つ疑問、焦りだと思います。春日民も経験してきました。「ACの対策って…」「推薦の面接どうしよう…」「二次対策はいつから始めればいいのか…」「小論文がうまくかけない…」わからないことだらけではないでしょうか。でもこれらを乗り越えられなければ、楽しい楽しい春日民にはなれないのです…。では、先輩の春日民は受験をどう乗り越えたのでしょうか。

ここからは学類ごとに AC、推薦、前期、後期を経験したばかりの1年次の人にその経験談を書いていただきました(だいぶ個性豊かなところがありますが)。先輩たちがどのように受験を乗り越えてきたのか、どう自分なりに受験を乗り越えるのか、この合格体験記を読んであなたなりに考えてみてください。

※春日民…春日キャンパスに通う学生の通称。

### メ創

AC 入試	p. 24
推薦入試	p. 26
前期入試	p. 28
後期入試	p. 30

### 知識

AC 入試	p. 32
推薦入試	p. 34
前期入試(文系)	p. 36
前期入試(理系)	p. 38
後期入試	p. 41

## 情報メディア創成学類

# AC 入試

情報メディア創成学類

### ▣ 受験のきっかけ

私が工業高校に入学した時点では、工業高校推薦枠でほかの大学に行こうと思っていました。とにかく国立大で実家からそう遠くないところならどこでもいいやという考えでした。しかし、部活の先輩が筑波大に AC で入ったことや、先生に勧められたこともあり、筑波大について調べるうちに、メディア創成に興味を持ったので受けることを決めました。

### ▣ 高校時代の過ごし方

高校では情報技術科だったので、授業でプログラミングや電子回路などについて勉強していました。また、授業とは別に、課外活動としてホームページや動画作成などの活動を行っていました。

まず、高校一年生で二、三年生の先輩が作っていたホームページ作成のお手伝いを始め、また、ホームページなどについての知識をつけるために、大学で行われる高校生向けの講座に行き、ホームページ作成や Arduino というマイコンの制御について学びました。二年生の時も CG やプログラミングなどの各種講習会に参加して、専門的な知識や技術を身に付けていきました。三年生の課題研究では以前から興味があった Andorid 用のアプリ開発も自主的に勉強して行ないました。高校3年間で私は、積極的に課外活動として専門分野の勉強をしていきました。

入学したての頃は、あまり積極的に活動する気はありませんでした。しかし、担任に勧められ、講習会や大会などに参加するようになりました。高校入学当初から卒業したら親のためにも国立大に入らねばならないと感じていました。そのため、推薦か AO 入試で大学に入るためには何かしらの活動をする必要があると思いました。そこで、担任に勧められたらとりあえず何でもやってみることにしました。時にはつらいこともありましたが、どちらかといえばつらいことばかりだった気もします。しかし、自分の将来のためには今頑張らなくてはならないのだと言い聞かせて、バグの見つからないプログラムにも立ち向かい、習ってもいないこれから役に立つのかもわからないマネジメントの勉強とも戦いました。結果として、担任のおかげで多数の資格や検定に合格しましたし、コンクールや大会で入賞することができました。達成感もあって、実績を積むこともできたのでやってきてよかったなと思います。

### ▣ AC 入試について・試験対策

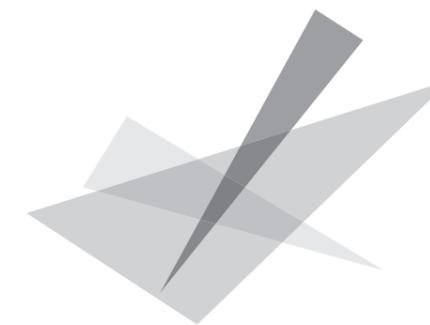
AC 入試では志望理由と自己推薦書を提出します。志望理由は字数制限のあるもので、大学に入ったらこんなことをやりたい！ということを書き具体的に書いていきます。将来やりたいことが決まっていると書きやすいかと思います。

自己推薦書は自分の今までの活動をまとめたレポートで、もし過去に合格した先輩が学校にいるなら、その先輩のものを参考にすると良いと思います。私はひとつひとつの活動について随時まとめていたので、具体的にレポートをまとめ始めたのは6月か7月くらいだったと思います。レポートの平均的な枚数は50枚くらいだそうです。私の場合、添付資料を含めて、両面印刷で112ページだったので56枚ですね。多いです。無駄に多くする必要はなく、論理的に記述できていれば良いと思います。自分だけで判断できない場合は先生や先輩を頼ってもいいと思いますよ。

第二次選考対策には、自分のレポートを何度も読み返して、今までの活動について頭の中でまとめられるようにしていました。また、多くの先生に面接の練習に付き合ってくださいました。緊張しないようにする対策です。本番でも緊張しないだろうと思いましたが、思った以上に緊張しましたし、面接で対策したようなことが聞かれず頭が真っ白になりました。こういう場面で焦らず対応できる能力を身に付けるといいですね。

### ▣ 一言

ここでやりたいことがある、と明確に考えている人は合格できると思います。後悔のない選択をしてください。



## 情報メディア創成学類

# 推薦入試

情報メディア創成学類

### ▣ 受験のきっかけ

将来の職業から大学を決める人も多いと思いますが、高校時代の私には将来の夢が特にありませんでした。しかしぼんやりと音楽に関わる研究や学問をしたいなあと思っていて、そのような大学を探していました。いくつかの大学が見つかり、その中でも国立大学であること、実家に比較的近いこと、そして挑戦しがいのあるレベルの大学として筑波大学の情報メディア創成学類が目にとまりました。はじめのうちは行けたらいいかななんて思っていたのですが、夏のオープンキャンパスで考えが変わりました。初めて筑波大に足を運びメ創の先輩方のお話を聞くうちに、ここはなんて面白そうなお話を聞いているんだらうと思ったのです。そこから受験勉強にさらに力を入れたわけですが、推薦入試を考え始めたのは実は夏のはじめでした。その時点では第一志望校は定まっておらず筑波大のメ創といくつかの大学で迷っていました。そしてやっと夏休みに志望校が決定し、夏の終わり頃には推薦入試を受けることを決めました。

### ▣ 高校時代の過ごし方

高校一年生では体育系の部活に所属していてほぼ毎日練習、帰宅、飯、寝るという生活をしていました。家ではテスト期間を除きほとんど勉強をしていませんでした。しかし休息をしっかりとっていた分、授業中に寝ることはなくしっかり授業を聞いていました。

二年生では諸事情から部活をやめ、勉強に力を入れられるようになりました。私の学校では二年になると同時に文理に分かれ、授業の内容もより深くなっていきます。私は理系だったので特に数学と理科がハードになっていきました。授業は一年の時と変わらず真面目に受け、なるべく疑問を残さないようにその授業が終わるまでには理解するように努めていました。

そして三年生になり本格的に受験勉強を始めました。最初はなかなかうまくいかず、試行錯誤していたのを覚えています。夏休みにはメ創を受けようと思い始めていたので、特に英語と数学に力を入れて勉強していました。時間のある夏休み、丸一日ひたすら微積の“計算”をやる日を作るのがおすすめです。10月からは推薦のための準備を始めました。

### ▣ 推薦入試について

試験日はセンター試験の約1ヶ月前、11月の終わりに実施され、試験科目は小論文と面接（口頭試問含む）でした。小論文は英文で書かれた数学的内容の課題文と現代文の課題文が出され、それを読んで答える形式です。英文の方はある程度の英語力が求められるので、読解と和訳・英訳はしつ

かり身につける必要があります。数学的知識はあった方がいいですが、それよりも英文法などをしっかりやった方がいいです。過去問には詳しい説明は載っていないので、英語の先生や英語が得意な人に聞くといいでしょう。現代文は文を読み解く力と自分の考えを文章にする力が求められます。私は過去問だけでなく、先生からいただいた慶応大の過去問もやりました。試験前2週間はほぼ毎日、過去問や類題をやっていました。難しい問題には多く触れていた方が少しは気が楽になります。面接の練習では、志望理由のまとめや話し方の練習、口頭試問の練習をやっていました。口頭試問は基礎的な数学の内容なので、基本をマスターできるように計算練習をひたすらやっていました。ただ人前、まして試験官の目の前なので、頭が真っ白になったら落ち着くのは一苦労です。追い詰められる練習もしておくとし余裕ができます。

試験当日は午前中に小論文、午後に面接という流れです。面接は二つの教室で行われ、約15分おきに受験番号が小さい人から順に2人ずつ呼ばれました。ここで受験番号が後ろの方の人は待ち時間が3時間近くになるので、ノートを振り返るなどいろいろしていないと辛いです。試験官は3人いて、自分はその前に座ります。最初は志望理由を聞かれました。ここで話した内容についての質問が来ることもあるので、つっこまれてもきちんと説明できるように考えをまとめていた方がいいです。志望理由と質問が一段落すると口頭試問が待っています。問題は2題あり一通り目を通した後、どちらか一方を選び黒板を使って解いて説明してくださいと言われました。私の時は、示されたいくつかの整数の中からある累乗の数字に最も近いものを答える問題と無理数の証明問題でした。私は解答途中に計算を間違えてしまい試験官の方に指摘を受けましたが、そのおかげで正解できました。計算過程や解答の説明でのコミュニケーションはかなり重要だなと思いました。口頭試問後はいくつかの質問を受けて面接は終了しました。

### ▣ 試験後

試験が終わって息抜きしたいところですが、まだ1ヶ月後にはセンター試験が控えています。受かっているかどうか分かりません。私は推薦直後のセンター模試で理科がそれぞれ40点ほど下がり絶望しました。結果は合格でしたがもし落ちていたらと考えるとぞっとします。受かっているセンターをしっかりとれば自信になるのでがんばりましょう。ちなみに理科は挽回して目標の8割に届きました。受かってしまえば合格を取り消されないように気をつければなんでもできます。冬休みと長い春休みです。遊んでもいいし免許をとってもいい、好きな勉強もできます。アパートに住む人はこの時期から探し始めるといいです。

### ▣ 一言

受験勉強は辛いですが受ければ素晴らしい大学生活が待っています。受験勉強のような代わり映えのないものではなく、たくさんの新鮮な知識と体験が待っています！そのためには諦めないことが肝心です。勉強中も試験中も、諦めたらそこで試合終了なんです。春日民みんなが応援しています。がんばれ！

## 情報メディア創成学類

# 前期入試

情報メディア創成学類

### ▣ 受験のきっかけ

私はもともとメディア、特に映像や興味がありました。金銭面から考えても国立大学しか選択肢はなかったため、高校二年生の時に「国立大学 映像」で検索し、やっと見つけたのがこの情報メディア創成学類でした。現在の国立大学には映像科がなく、それに似た学科でも絵などの実技の試験があるものばかりで、ごく普通の進学校に通っていた自分には到底受験できるものではありませんでした。正直はじめは妥協案でした。しかし情報メディア創成学類について調べているうちに、この学類で学べる多様なカリキュラムに魅力を感じました。プログラミングも映像も音響も、メディアに関すること全般を広く学ぶことができます。今は映像だけに縛られることなくいろいろな経験を積むことができる情報メディア創成学類を選んでよかったと心から思っています。

### ▣ 高校時代の過ごし方

高校一、二年生の時は信じられないくらい勉強してなかったです。サボりすぎて成績はガタ落ちで、高校三年の4月は筑波大学なんて目指す権利もないくらいの成績でした。しかし、情報メディア創成学類に進みたいという思いは人一倍強く、あの時の第一志望への執着は誰にも負けていなかったと自負しています。とにかく足りない分の成績を上げることに必死でした。私は演劇部に所属していたので夏の大会まではある程度の両立を図れるようなペースで勉強していたのですが、それが終わってからは死ぬ気で勉強しました。食べている時と寝ている時以外は常に勉強をするようにしていました。ちなみに使う問題集はあまり浮気しすぎない方がいいです。自分がこれだと信じた問題集をひたすらやりこむ方が勉強の効果がでます。大抵学校で推奨されている問題集がベストだったりします。あと、スマホ依存症の人は思いきってスマホを持ち歩くのをやめた方がいいと思います。私はツイッターが大好きでスマホがなかったら死ぬんじゃないかというレベルだったのですが、見る時間を減らしたりしている時より、潔くスマホに一切触れない生活に切り替えてからの方がむしろ精神的に楽でした。いろいろ書きましたが一番大事なことは最後まで諦めないことです。最後の最後の模試でE判定をとっても受かる時は受かるのでドーンと構えて臨みましょう。



### ▣ 前期入試について

とにかくセンターまではあまり二次試験にとらわれすぎない方がいいかなと思います。ある程度問題の傾向を知っておくのは大事ですが、二次の勉強ばかりしてセンター大失敗するともうどうしようもなくなります。私は二次試験があまり得意ではなく、点稼ぎにならないのがわかっていたので、どれだけセンターで他の人と差をつけるかにかかっていた。センター対策をばっちりしたおかげで自己ベストを出し、それが自信にもつながって二次試験対策に気持ち良く移行することができました。センター試験が終わって怠ける人がたまにいますが、そこで負けずに過去問を必死にやって苦手な大問を把握しましょう。徹底的にそこを潰せばきっと合格が待っているはずですよ。

### ▣ 一言

筑波大学に入学してから毎日が刺激的で本当に楽しいです。受験はつらいこともたくさんあると思います。でも頑張った先にはきっと楽しい大学生ライフが待っています。来年の春、春日でみなさんの笑顔が見られるのを楽しみに待っています！

## 情報メディア創成学類

# 後期入試

情報メディア創成学類

### ▣ 受験のきっかけ

私は、高校に入学するまで志望大学はまったく考えていませんでした。しかし入学後に、目標があったほうが勉強に集中できると思い、様々な大学の資料を読んでいたら、情報メディア創成学類と出会いました。将来は情報について学びたいという大雑把な希望を持っていた私にとって、情報メディア創成学類のカリキュラムはとても魅力的であり、ぜひここで学びたいと思ったのを今でも覚えています。その後、他にも行きたい大学が見つかりたくさん悩んだ結果、情報メディア創成学類は後期で受験することにしました。

### ▣ 高校時代の過ごし方

高校一年生のときは学校から出された課題をやりそれ以外の勉強はほとんどしていませんでした。大学受験についてもそれほど考えていませんでした。勉強と部活をバランスよくやっていたと思います。高校二年生の夏には、オープンキャンパスに行きました。オープンキャンパスでは大学の雰囲気を感じることができて、受験を意識するきっかけになりました（ちなみに、筑波大学のオープンキャンパスは日程が合わなくて行けませんでした）。受験への士気を高めるためにも、興味がある大学のオープンキャンパスは積極的に参加することをおすすめします。秋からは受験を意識して生活するようになりました。学校で配られたテキストや問題集を1回だけではなく何回もやるなど、ただ課題をこなすだけの勉強から徐々に切り替えていきました。秋、冬に受験校を真剣に考え始め、高校二年生から高校三年生に上がる春休みには、受験校がほぼ決まっていました。

高校三年生になって、高校生活最後の文化祭が6月の初めに終わった後は、ひたすら受験勉強をしていました。私が所属していた吹奏楽部はこの文化祭で引退でした。最後の演奏も楽しくでき、後悔なく引退できました。ここで読んでいるみなさんに伝えたいのは、部活や学校行事は最後まで真剣にやり遂げてください、ということです。心残りがあって、受験勉強に集中できなくなってしまう、といったことがないように精一杯取り組んで欲しいです。

文化祭後の勉強は、学校が用意してくれた問題集を何回もやったり、過去問を解いて先生に添削をしてもらったりなど、学校の言う事を信じて勉強していました。塾はどこにも行ってなかったのですが、ほとんど毎日学校に行って勉強していました。学校にいくとクラスに友達がいる、休憩時間の何気ない会話が受験勉強の疲れを癒してくれました。

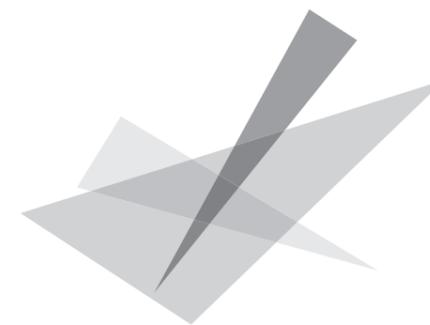
### ▣ 後期入試について

後期入試の前に少し前期入試についてもお話ししておきます。6月から冬休み前までは前期の勉強を、冬休みからはセンター試験の勉強をしていました。前期での受験校の入試科目数などを考慮してこのような勉強スケジュールになりました。スケジュールをあらかじめ決めておき、焦ることなく勉強を進められたことが功を奏したのか、センター試験では自己ベストをだすことができました。受験校は人それぞれなので、自分の受験校に合った勉強スケジュールを立てて、合格点を狙って頑張りたいです。受験校が決まったら、入試問題を1年分解いて合格に足りないのはなにかを考え、合格までのスケジュールを立てるのがよいと思います。

後期入試についてですが、勉強は前期が終わってから始めました。それで十分対応できると思います。情報メディア創成学類の後期入試の過去問を3年分見ると、大問1が英語で書かれた数学や情報についての文章の読解、大問2が日本語で書かれた文章の読解だったので、後期のために特別勉強しなければならないことはないと思います。前期が終わるまでは前期の勉強をしていました。後期対策では、主に過去問に取り組みました。問題形式に慣れること、制限時間内に適切な解答を作ることを意識して解きました。問題形式に慣れることが大事だと思います。本番では、英語の文章に高校の物理の先生が話していた内容がでてうまく解答が書けた一方で、日本語の文章は過去問と内容が少し変わってプログラミングについてのものになっていて焦ったりもしましたが、無事に合格することができました。

### ▣ 一言

受験勉強はつらいと思いますが、勉強しないと合格はきません。友達と励ましあいながら乗り越えて、合格を勝ち取ってください！合格すれば必ず楽しいキャンパスライフが待っています。情報メディア創成学類への入学を、お待ちしております。



## 知識情報・図書館学類

# AC 入試

知識情報・図書館学類

### ▣ AC 入試って？

そもそも「AC 入試」って何でしょうか？皆さんよく耳にするであろう「AO 入試」とは少し違います。AO 入試は、「問題発見・解決能力」と「強い意志」と「将来への目的」が問われます。AO 入試では、受賞歴などが重視されることが多いようです。しかし、AC 入試では、その受賞歴を得るためにどのような問題を発見し、またどうやって解決したか？ということを経験的に説明する力があるかどうかを重要視されます。第一次試験は書類審査、第二次試験が面接です。

### ▣ 受験のきっかけ

小さい頃から本を読むことが好きでした。そのため、中学生くらいから将来は司書になりたいと漠然と思い始めました。高校生になってもその思いは変わらず、文系に進んで近隣の大学に進学しようと考えていました。そんな私に、その当時の担任で放送部の顧問だった先生が紹介してくださったのが、筑波大学の知識情報・図書館学類（以下、知識）です。勧められたのは高校一年生の終わりごろでしたが、「そんなレベルの高いところに行けるわけがない！」と聞いた当初は全く本気にしていませんでした。それに、司書は採用も少なく、採用されても派遣などの非正規雇用が多い職業です。二年生になってこのまま司書を目指していいのか悩みました。一方で、高校から始めた放送部での活動を通して「情報」という分野についても深く学んでみたいと思い始めたのもこの頃です。そんな時、知識のことを思い出し詳しく調べました。知識なら司書という道も情報という道も諦めず、さらに放送部での受賞歴を生かすことができると思い、受験を決めました。

AC 入試の受験を決めたのは三年の夏休みの初めです。私はもともと推薦入試だけを受けることを考えていましたが、「落ちても推薦入試の準備になる！」と考え挑戦しようと決めました。

### ▣ 試験対策

AC 入試は自己推薦書と志望理由書からなる書類選考と、30 分間の 1 対 3 の個人面接による第二次選考から成り立っています。第一次選考で大幅に第二次選考の人数が減らされるので、一次選考に受かる方が難しいと考えたほうがいいかもしれません。

最初に自己推薦書ですが、これが合否のほとんどを決めると言っても過言ではないと思います。自己推薦書は A4 サイズという形式以外自由です。何を書いていいのか分からない人は、過去のもの筑波大学アドミッションセンターの HP で公開されています。情報を集めてみてください。自己推薦書に加えて、添付資料も提出することができます。私は、過去にもらった賞状や放送部の過去の作品をわかりやすくまとめた DVD を提出しました。第一次選考までは、この自己推薦書の作成にほとんど時間がとられます。

次に面接対策です。面接は、自己推薦書、志望理由書の内容から質問されます。私は、面接対策として色々な教科の先生方 10 人ほどに面接指導をお願いして、様々な角度から質問してもらいました。それをメモした面接ノートを作っておくとよいと思います。また、二年の 2 月ごろから自己推薦書の内容に関する新聞記事のスクラップも始めました。ただスクラップするだけでなく、その記事を読んでどう思ったかメモしておく、とても役に立つと思います。さらに余裕があれば、新書なども読むとよいです。こうした準備をした上で、どうしてもここで学びたい！という思いを面接で伝えることができれば、大丈夫だと思います。

### ▣ 高校時代の過ごし方

高校時代の成績は、範囲が決まっている定期テストはよかったですが、模試は散々でした。判定も良くて C 判定。三年の初めに学力で合格を目指すのは厳しいと考えていました。しかし、定期テストを頑張ったおかげか評定だけはよかったです。部活動は上記の通り放送部でした。アナウンスをしたり、テレビ・ラジオ番組を制作したり、行事の運営をしたりしていました。とにかく忙しかったですが、とても充実した毎日でした。九州大会・全国大会を経験し、色々な刺激も受けました。部長も務めていたので、問題解決能力などは部活動から養われていたのかなと思います。私は、AC 入試での受験を決めるのが遅かったため、学校、塾、模試などの勉強と並行しながら作業しました。広がる周りとの差に焦りつつ作業するのは、精神的に辛かったです。結果的に AC 入試で合格できましたが、推薦入試だけ考えていたら不合格だったかもしれません。どんな入試形態が自分に一番合っているのか、よく考えることも大切です。AC 入試の合格が決まるのは 10 月半ばですが、私は合格後も継続して勉強していました。センター試験対策と並行して、履修していない数Ⅲを勉強するために 2 月まで塾に通っていました。

### ▣ 一言

AC 入試は、受かった本人もどこが評価されたのか明確にわかりません。ただ、学力試験だけでは測れない、知識に懸ける思いややる気、人間性を直接面接官にアピールすることができます。どうしても知識で学びたい！というあなた。AC 入試に挑戦してみませんか？皆さんの入学をお待ちしています！

## 知識情報・図書館学類

# 推薦入試

知識情報・図書館学類

## ▣ 受験のきっかけ

小さいころから本を読むのが好きでした。「将来は本にかかわる仕事がしたい」と漠然と考えていた小学生のころ、祖母が「図書館情報大学（現在の知識情報・図書館学類）はどうか」と勧めてくれたのをきっかけに、ずっとここに入学したいと思っていました。中高で図書委員として活動していて、その気持ちは強くなりました。図書館の勉強ができるし本にも関われる！司書の免許も司書教諭の免許もとれる！しかもプログラミングもできるらしい！！というわけで知識情報・図書館学類を第一志望として宣言してきました。

## ▣ 高校時代の過ごし方

私は中高一貫校に通っていたので、高校受験はありませんでした。真面目に見えて不真面目な生活を送っていました。定期テストはなんとか平均くらいを維持しつつ、模試の成績は最後の最後までE判定ばかり出ていました。勉強よりもいろんなことに興味を持って取り組みました。ボランティア部として全国総合文化祭茨城大会などで活動したり、図書委員長を務めて色々な試みを取り組みました。この試みが推薦入試を受験するうえでとても役に立ちました。受験期は最終下校の時間まで学校に残って勉強をしたり、図書館に関する本を読み漁ったり、司書教諭の先生から知恵を授けられたりしていました。それと並行して、受験で使おうと思っていた全校アンケートを作成して夏休みまでかけて集計していました。

実は夏休み前までAC入試を受けようと思っていましたが、模試の結果が散々だったため担任に止められました。一般入試ではとても入れないような成績だったため、推薦入試の公募時期に担任を必死で説得して受験させてもらいました。

## ▣ 推薦入試について

### ー自己推薦書と志望理由書ー

推薦入試の受験には志望理由書の提出が必須です。これも合格を決めるうえでは重要だと思います。私は志望理由書を司書教諭や担任に見てもらい、最終的に15個くらいバージョンを作りました。また、それとは別に活動報告書として、自分が図書委員会で活動してきたことをレポートにまとめたりしました。「学校図書館の利用に関するアンケート」を全校生徒に行ったり、委員の仕事改革など、それぞれの活動の意義・概要・結果・別添の資料をまとめました。こちらは提出必須のものではありませんが、結果として面接でもこの資料に関する質問が多かったので、作ってよかったと思います。

### ー小論文と面接ー

小論文は英語と国語の2つです。過去問をすべて解きました。推薦1か月前から担当の先生が付き、添削してもらっていました。英語に関しては、長文読解の力と、単語力が必要です。学校で配布されていた長文プリントを4月から解き続けていたため、長文を読めるようになりました。国語の小論文は、新書の類を読むのが苦手だったので私はとても苦労しました。結局最後まで小論文には苦手意識を持っていましたが、不安にしか繋がらないのでしっかりと対策をしましょう。解きなれることが大切です。

面接は15分程度で、試験官と1:3です。案外あっという間に終わってしまいます。練習には、過去に出た質問にすべて自分なりの答えを考えてノートにまとめました。先生との面接練習は2回しかありませんでしたが、友人や親に頼んで練習しました。練習の際にボイスレコーダーを使って録音すると、直すべきところがよくわかると思います。本番は予想しない質問が出てくることあると思いますが、決して焦らず、落ち着いて堂々と質問に答えましょう。大切なのは自分の意見・持論をはっきりと自信をもって答えられることです。多少言葉に詰まっても、伝えようと努力していれば、面接官の方もきちんと聞いてくれます。

### ーアドバイスー

大学説明会に参加すると、現役大学生の生の声やアドバイスが聞けます。モチベーションも上がりますし、私は高一から高三まで毎年参加していました。またそこで知りあいを作ると、質問ができるのでお勧めです。

推薦入試準備期は本当に推薦だけに集中します。受ければラッキー、落ちたらその1か月間分ります。「リスクが高い」ということを覚悟したうえで受けたほうがいいです。受験期は「なんでこんなことやっているんだろう」と思うほどつらいかもしれません。しかし、推薦入試は希望する大学に受かるための1つのチャンスです。私は一般入試で受かる成績ではなく、推薦入試を受けるための評定も少し足りませんでした。入学したい気持ちはとても強かったです。周りからは「合格したのは本当に奇跡だ」と散々言われましたが、運も実力のうちです。希望する大学に入るため、大事なチャンスを逃さないように頑張ってください。乗り越えれば夢の大学生活が待っています。ぜひ全力で受けてみてください！

## ▣ 一言

筑波大学は沢山の個性的な人と多く出会える素敵な場所です。受験生活は大変だと思いますが、最後まで諦めずに頑張ってください。春にお会いできることを楽しみにしています！

## 知識情報・図書館学類

# 前期入試 (文系)

知識情報・図書館学類

### ▣ 志望のきっかけ

高校二年生になって志望校決めて悩んでいた時期に、私が本好きであることを知っている母にこの学類を勧められたのがきっかけです。その年の夏の学類説明会に参加してさらに興味を持ち、志望を決意しました。

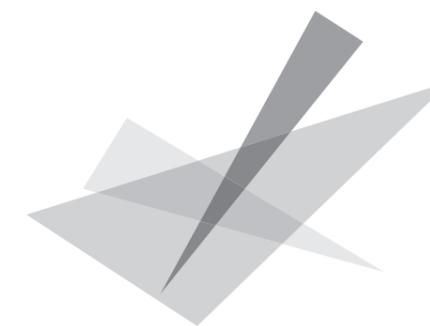
### ▣ 高校時代の過ごし方

私は高校3年間百人一首部に所属していました。中学生の頃からかたに興味が有り、百人一首部に入部してかたに熱中しました。毎日練習し、通学時間は1時間弱、帰宅するのは8時前でそれから夕飯を食べたりお風呂に入ったりしました。お風呂から出た後は家族で喋ったり、テレビを見たりゲームをするなどしていました。つまり受験期までの私の勉強時間はほぼ0に近いものでした。塾には通っていたので、塾での授業が始まる前と、終わって電車が来るまでの時間で課題などをやっていました。しかも予習や復習はほぼやっていませんでした。テスト前になって部活動停止期間に入り、慌てて勉強して知識を頭に詰め込んでテストに臨んでいました。これを繰り返して三年生になり、部活では全国大会にも出場して、7月末に晴れやかな気持ちで引退しました。ちなみに、勉強そっこのけでかたをしていたので、当たり前ですが模試は常にE判定でした。

### ▣ 受験勉強について

前述したとおり、私は部活を引退するまでは、勉強は最低限の課題くらいしかやっていませんでした。夏休みに入って部活を引退し、そのため8月上旬は心にぽっかり穴が空いたようで勉強に手が付きませんでした。「もうかたは引退したのだ」という事実を受け止めて、8月中旬から勉強をするようになりました。

この学類では二次試験で数学が必要ですが、私は数学が大の苦手な文系でした。「センター試験でなるべく点を稼いで二次試験の、特に数学のプレッシャーを軽くしよう」と担任に言われ、まずはセンター試験を高得点で突破しなければと思い11月くらいまではひたすらセンター試験の勉強をしていました。私は日本史と英語が好きで、この2教科で出来るだけ点を取りたいと思っていました。しかし日本史は好きな時代と苦手な時代があり出題範囲によって点数にムラがあったので、安定して高得点を取りたいと思い、過去問を買いひたすら解き、忘れていた部分などはノートにメモしました。逆に英語はあまり点数に揺れがなく、安定して8割以上は取れていたのに息抜き程度に勉強しました。



苦手な数学は1問1問を大事に解き、分からないところは学校や塾で先生に質問し、その後もう1回自分で解いてきちんと理解しているか確認していました。

成果が出たのか模試でもやっとDやC判定が出るようになりました。私立大学に進学するつもりはなかったのに、センター試験で失敗したらすぐに諦めて第2志望を受験しようと思っていたのでこの時点ではまだ筑波を受験することは確定していませんでしたが、そろそろ二次試験の対策も始めないと…と思い、11月に入って赤本に手を伸ばしました。繰り返しになりますが私は数学が大の苦手な過去問も解答を見ないと解けない、解答を見ても解けないという悲惨な状態でした。その状態で数学の問題をひたすら解きまくるとするのは不可能だと思い、先ほど述べた数学のセンター試験対策と同じように量より質を重視しました。英語も量より質を重視し、「同じ問題を何度も繰り返し解くべき」と英語の担当の先生が言っていたのでそれを実行し、わからない単語が出てきたら自分で単語帳を作ってそこにメモをしました。日本史はとにかく問題を解きまくりました。二次試験は3教科とも2時間で、英語と数学は焦らなくても十分解き終わる時間だというのは過去問を解いていてぼんやりと思っていたのですが、日本史はそうもいきません。赤本を見ればわかりますが、地歴公民は400字論述×4問を2時間で解かなければなりません。単純計算で30分に1問です。初めは制限時間なしで教科書を見ながら、次に制限時間ありで教科書を見ながら、最後に制限時間ありで教科書を見ないで、という風に徐々に本番の形態に近づける形で解き、高校の日本史の先生に添削してもらいました。英語と数学は赤本10年分、日本史は15年分くらい解きました。

冬休みからセンター試験本番まではセンター試験対策に力を入れ、本番では数学ⅡBの難化というハプニングに見舞われながらも初めてB判定を取り、筑波を受験することを決意し、前述したような二次試験の勉強をしました。二次本番では心配していた数学も無事に完答できました。

### ▣ 一言

文系にとって二次の数学は非常に重い教科です。特に私のように数学が苦手ならなおさらです。しかしだからと言って諦める必要はありません。合格したいという強い気持ちがあれば、きっと解けるようになります。勉強がつらくなる時もあると思いますが、そんな時には無理せず息抜きしましょう。4月にみなさんとお会いできるのを楽しみにしています！

## 知識情報・図書館学類

# 前期入試 ( 理系 )

知識情報・図書館学類

### ▣ 受験のきっかけ

高2の時に友達に誘われ筑波大学の文化祭に参加して、学生の楽しい雰囲気と広大なキャンパスに「あっ、ここいいな」と思ったのがきっかけです。文化祭で入試案内をしていたのでパンフレットをもらい、「情報系なのに文系も理系も募集しているなんて変わったところだなあ」とこの学類に興味を持ちました。そして春の大学説明会に参加して詳しく話を聞き、ここを受ける決意を固めました。あと個人的に大学に入ったら一人暮らしがしたかったので、一年生が優先的に宿舎に入れる筑波大が魅力的に感じたのも決め手です。

### ▣ 高校時代の過ごし方

高校では部活はしていませんでしたが、学校でのテスト勉強以外は特に勉強もしていませんでした。本格的に受験勉強を始めたのは高三からで、とりあえず自分のだらけきった生活習慣を叩き直すために7時から学校に行って勉強していました。これは二次試験が終わるまで続けていた習慣です。何やかんやで一番勉強に集中できたのは朝のこの時間帯かもしれません。

夏までの過ごし方は、数学はセンター試験レベルの問題をひたすらこなし、分からない部分は「Focus Gold」などに立ち戻っていました。IAまでを使うのがセンター試験のみで内容も基礎的なので、この時期に完璧にしておきました。英語は『システム英単語』『基礎英文問題精講』と『Next Stage』を使い、問題精講の文章中に出てきた分からない単語は単語帳でチェック後、「自分の分からない単語集」を作り空き時間に読んで覚えるようにしていました。理科科目はまだ終わっていないので学校の勉強を理解できるように努めました。夏休みは二次試験に使う科目、私の場合は英語、数学、物理の3セットを1日でひたすら回していました。この時期に筑波の過去問を一度解いて、自分の実力を測ってみるのもいいかもしれません。

秋からはセンター試験も視野に入れた勉強を始め、普段はセンター試験でしか使わない科目+二次試験でも使う科目の組み合わせで勉強していました。12月からはセンター試験一辺倒で、1日2教科を1週間ごとに組み合わせを変えて過去問を解きまくっていました。英語の点数が伸び悩み、流石に焦りましたが、直前まで頑張っただけでなんとかかなりました。今思うとこの時期が精神的に一番きつかったかもしれません。二次試験までは私立の過去問と筑波の問題を、計画を立てて交互に解く生活でした。

計画を立てるときは「～までにこれを終わらせよう」といった漠然としたものではなく、「～までにこれを終わらせるために、1日〇ページはやろう」といった1日ごとのノルマを設定するのが大事です。こうすることで、「今日はこれだけ頑張った！目標にまた一歩近づいたぞ！」といったモチベーションの維持にも繋がります。

### ▣ 前期入試にむけて

知識情報・図書館学類の前期試験はセンター900点と二次試験1000点と配点が約半分ずつに分かれています。ただし後期試験はセンター900点二次試験200点のため、後期もここを受けようと思っている人にはセンター試験はとても重要と言えるでしょう。センター試験において最も大切なのは(二次試験もちろんそうですが)、苦手な科目をなくすことです。具体的に言うと、全ての科目の基礎をしっかりと固めることです。これは「わかったつもり」にならず、人に聞かれたときに論理的に説明できるかどうか指針です。参考になるかはわかりませんが、私の教科ごとの勉強法を書いておきます。

英語は今やどこの大学入試でも文理問わず必要になることがほとんどのため、早めに勉強をしておいて損はないでしょう(ちなみに筑波大学でも英語の授業はどの学類でもあります)。しかし文法、単語、読解とやるのがとにかく多いです。これらは一つ一つ独立したものではなく、全て繋がっているものです。これらを理解して解けるようにするには、英文を「精読」することが大切です。多少時間がかかっても文章をかみ砕いて、構造、意味、そこで使われた単語の役割などを理解する。これを根気よく続けることが結果的に速読にも繋がります。あとはセンター試験前にリスニング、発音などの特有の問題対策もしておきましょう。

数学は「Focus Gold」のStep up問題(1章ごとにある応用問題)を解いていました。これは教科書レベルから最難関クラスの問題にまで対応しているので、お勧めの参考書です。解法は覚えるのではなく、自分で導き出せるようにしましょう。

物理は「名問の森」を解き、分からないところは教科書まで遡って勉強していました。これは暗記よりも理解がものをいう科目なので、しっかり理解するまで教科書や解説を読み込むのが大切です。

化学は学校で配られた基礎をまとめた参考書と、センター試験形式の問題集を12月までこなしていました。センター試験は意外に計算問題も多いので式もきちんと書きましょう。今思うと、センター試験だけの科目を1科目早めに終わらせることで、他の科目に割く時間を増やすことができたのだと思います。

倫理は「点数が面白いほど取れる」シリーズを使って、理解できないところや曖昧なところは自分でノートにまとめていました。センター試験に関して言えば、思想を根本から理解する必要のある思想家と、用語と人物を結び付けて暗記すべき思想家で分けて覚えると良いでしょう。前者の例ではカント、デカルトなどが挙げられます。ただし最近のセンター倫理は難化傾向にあるので、細かい知識もできれば身に付けておいた方がいいです。

国語では現代文は得意でしたが古典は壊滅的に苦手だったため、センター前に英語の要領でひたすら文を読んで、チェックをした単語と文法を詰め込みました。漢文古文ともに、現代語とは違う意味の単語に気を付けましょう。

## 知識情報・図書館学類

# 後期入試

知識情報・図書館学類

全科目において共通する大切なことは、参考書や問題集などを「これ」と決めたら途中で止めないで一つは必ずやりきることです。ただし、一周することは「やりきる」ことではありません。何度も繰り返し続けることで自分の身となります。周りを見ると色々な参考書を使っていて焦るかもしれませんが、中途半端にやるよりも一つのものに集中した方が最終的には最も効率よく勉強ができます(これは単語帳を4冊も買って結局1冊しか使わなかった私の失敗談でもあります(笑))。

最後に本番のメンタル面についてです。私の場合は上がるとすぐにダメになってしまう性質なので、何度もシミュレーションをしていました。本番時も「練習と同じようにやればいい」とだけひたすら考えていました。特にセンター試験はマーク模試と形式がほぼ一緒なので、多めに受けて慣れておくことで本番の時に緊張せずに済むかもしれません。

## 一言

確かに受験は辛くて苦しいものですが、そこから得られるものも多いと思います。大事なものは結果ではなく「自分が全力を出せたか」です。「あの時もっと頑張っておけば良かった…」となってしまうのが、受験において最も後悔することだと思います。だからこれを見た「今」から全力で頑張りますよ！(たまには休息も必要ですが(笑))

筑波大学は個性的な人が多くてとても楽しいです。どうせ行くなら楽しい大学生活を、ということで来年春日の地で待っています！

何か質問などありましたら Twitter でどうぞ(・ω・)ノ→@da\_shima398

## 志望理由

私が知識情報・図書館学類を受験した理由は、学校司書になりたかったからです。中学生の時に中学校の司書の先生と仲良くなり、図書委員としてお手伝いをしているうちに自然と学校司書に憧れを抱くようになったのを覚えています。だから、高校生になっていろいろな大学を調べているなかで、「知識情報・図書館学類」という学類名はとても魅力的でした。

実際には他にもやりたい学問がたくさんあり、高校三年生になっても悩んでいました。しかし、夏休みの大学説明会に出席し、詳しいカリキュラムの内容を知って、「図書館」そのものだけではないとても広い内容を学べるどころと分かって受験を決意しました。周りの環境も実際に見てみると思っていたよりとても魅力的でした(筑波大は陸の孤島と聞いていたので……)。三年生の夏休みは気持ち焦り、「大学説明会なんて行っている暇は無い」と思ってしまうものですが、私は参加をおすすめします。佳境に入る前に気持ちを固められたことは、私にとってとても大きなことでした。また、大学生活がとても楽しみになると思います。

## 高校時代の過ごし方

二年生までは美術部に所属し、部活中心の生活をしていました。部活は二年生の2月で引退だったので、そこから本格的に受験勉強を始めました。引退後には部室だった美術室が、大切な勉強場所となりました。後輩たちが活動していない朝や昼休みは、美術室に来て勉強をしていました。誰もいなくて静かでしたし、慣れ親しんだ場所だったので、終盤でつらくなってきた時も落ち着いて勉強ができました。是非、自分の一番落ち着ける勉強場所を見つけてみてください。

最初はやり方が分からず、またどこから手を付ければよいのかも分からなくて不安でしたが、とにかくやってみようと、学校で配られた英語や国語の問題集をやり始めました。学校で配られた問題集は、先生という教育の専門家たちが厳選したものです。何をすればよいか分からないときは、とりあえず信用してみるとよいと思います。とにかく始めてみて、勉強を生活にどう組み込むか、自分なりのスタイルを確立することが大切です。

また、何も分からず不安だという気持ちは、友人たちと共有して励まし合いました。これは担任の先生の受け売りですが、高校ではみんな初めての大学受験です。自分が抱えている悩みは、みんな抱えています。

# 6. 生活体験記

## 「春日民ってどんな生活しているの？」

春日での生活形態には以下の三つがあります。

- ・学生宿舎
- ・アパート
- ・自宅通学 (宅通)

そう聞いて、またこんな疑問も生まれるのではないのでしょうか。

「宿舎ってどんなところ？」

「アパートってどう選べば ...」

「宅通って一日をどう過ごしてるのかな」

実際の春日民がどのように生活しているのか、皆さん気になるところでしょう。

ここからは、学生宿舎、アパート、宅通のそれぞれで生活している1年次の人にその様子を書いていただきました。メリットやデメリット、一日の過ごし方などについて書かれています。普段春日民がどのような生活を送っているのかを知り、あなたが春日民になったときのかすがらいふ構想をどんどん膨らませてください。

### 田 受験勉強について

後期入試の前にはもちろん前期入試があります。しかし、前期入試までの受験勉強の中で小論文を書く上でのテクニックや知識を多く得る事が出来ます。

知識情報・図書館学類の小論文は、過去問を見ればわかるように、現代文の問題のように短い文章を書く問題がいくつかあり、最後に長めの小論文を書く形式になっています。なので、一般的な小論文のテンプレートにあてはめて書くことができない問題も多々あります。様々な問題に柔軟に対応できる力が必要です。そのために、文章を書く機会を大切にしてほしいと思います。私は文系だったので、筑波大学の文系は前期試験の地歴公民に長めの記述問題を課しています。私はその倫理の問題を先生に添削して頂くことを通して、「出題者の意図の読みとりかた」や「問題の形式に合わせた構成のしかた」などを学びました (どのような教科でも、記述問題の添削はぜひお願いしてください。上達の近道です)。また、この学類は前期試験に国語が課されていないために実際に受験するのはセンター試験のマークテストのみではありますが、受験勉強においては記述形式の問題を多く解きました。その際にはなるべくじっくり考え、問題文の要点に線を引きつつ、問題に求められていることをうまくまとめられるよう心がけました。文章を書く問題はとても時間がかかるもので、しかも何かを暗記するわけでもないので、「私は何をやっているのだろう、他にやるべき事があるのではないか」と思ってしまうものです。しかし、長い時間をかけて解いたことは必ず身になります。

また、受験勉強で国語や英語の問題を解いているうちに、様々な話題に触れることになります。ただ問題を解くだけでなく、その中身を積極的に吸収して下さい。特にこの学類の小論文は「情報」に関する文章を問題にすることが多いです。情報系の話題が出てきたら注意してみてください。小論文は「ネタ」の多さが大事とはいえ、受験生になってから新書を読んだり調べ物をしたりする時間はあまりないでしょう。しかし、受験生は小論文以外の問題を通して意外と多くの「ネタ」に触れています。ぜひ、大切にして下さい。

### 田 一言

後期試験に臨むことになったときは、焦らず、自分の受験勉強の集大成だと思って頑張ってください。受験勉強は、必ずみなさんの糧になっています。

学生宿舎	p. 44
アパート	p. 48
自宅通学 (宅通)	p. 52

# 学生宿舎

知識情報・図書館学類

知識情報・図書館学類一年の市村彩也香です。簡単に宿舎生活について紹介します。

春日宿舎は春日民（春日で授業を受ける生徒）の本拠地（？）7A 棟から徒歩3分、つくば駅から約10分の所にあります。5階建てで女子棟・男子棟があり、数年前に改修された棟なので他の宿舎に比べるととてもきれいです。トイレと、ガスコンロ・調理台がある捕食室は同じ階の人々と、1階にあるお風呂（17時～22時）とシャワーはみんなと共同で利用することになります。

## ☒ メリット

- 友達（もしくは顔見知り）ができます。  
入学した直後は全く知り合いがいないことの方が多いので友達作りに苦労しますが、宿舎だと友達が作りやすいです。何回か同じ階の人たちと顔を合わせていれば自然と話すようになる…はず！（コミュ障の人は頑張りましょう！）
- 7A 棟にかなり近い！！  
授業を受けることが多い7A 棟にかなり近いです。始業20分前に起きたとしても間に合う人は間に合うらしいです。長く寝ていられます。
- 食事会に行きやすい  
宅通（自宅通学）とは違って遅くまで部活などの食事会に残ることができます。
- 電気代が安い  
その人によりますが、普通のアパートの1か月分の電気代が宿舎では大体3か月分の電気代になります。
- 遅刻が減る（かも？）  
寝坊したときに友達に起こしてもらえるかもしれません。待ち合わせの時間に来なかったり朝 Twitter に浮上していなかったりすると、友達が部屋の扉をドンドンと叩いてくれることもあります。徹夜した人は、仮眠をとる前に最初から友達にモーニングコールと部屋の扉を叩くことを頼むこともあります。



## ☒ デメリット

- 部屋のスペースの余裕がない  
人によるかもしれませんが、家具の配置を間違えると窮屈な部屋になります（電子レンジや炊飯器・冷蔵庫も自室に置かなければいけないので）
- お風呂が17時～22時までしか開いていない  
この時間を過ぎるとお風呂が閉まってしまいシャワー室を使うことになります。シャワーは9分で100円（お風呂はタダ、お湯が湯船に張られるのは2日に1回）なのでうっかり時間を逃さないように注意！
- 補食室  
皆がご飯を作り始める時間は重なることが多いので、それを考えて補食室に行かないとたくさんの人とご飯を作ることになります。コンロや流しに他の人がいてすぐには使えないことも…。人と会いたくない人は補食室の方から声が聞こえなくなってから行くことが多いかも。
- 湿気がたまりやすい、日当たりが悪いなど  
日光が入りにくい向きの部屋や湿気がたまりやすい部屋があります。梅雨は湿気取りが必須です！
- 本学（第1・2・3エリア等の総称。春日から自転車で約15分ほど）から遠い  
春日に住む者の宿命です。諦めて時間に余裕を持って行動しましょう。

## ▣ 一日のスケジュール

春日宿舎に住んでいる私の1日のスケジュールを平日と休日に分けて簡単に紹介します。

### 平日

6:00	<p><b>起床</b> 比較的に早めに起きています。 起床→Twitterを開く→つぶやく→朝ごはん・用意→ Twitter (皆の生存確認=皆が起きているか確認する) →…はい。 時間に余裕があると課題をやったり、音楽を聴きながら優雅な朝を 過ごしたりすることができます。</p>
8:30	<p>(1限が本学の場合) 宿舎を出る 授業開始は8:40ですが、自転車で道が混むため早めに出ます。 春日で授業の日は8:20くらい。</p>
11:25	<p><b>昼食</b> 簡単なおにぎりを作っていたり、学食で食べたりします。 春日で授業の時は宿舎に帰って食べる時もあります。</p>
// 授業終了 //	
17:30	<p><b>夕飯 (かなり早い方です)</b> 補食室に行って作ったり、面倒なときはカップ麺を食べます。 友達と外に食べに行くことも。 部活がある木曜日は21時まで我慢してそこからご飯に行く日もあります。</p>
19:30	<p><b>お風呂</b> この時間、大抵人が少ないです。</p>
20:00 ~	<p><b>自由時間</b> 大抵Twitterか課題をやっています。 読書やTV鑑賞は時間に余裕があるときにやることもあります。 気が付いたらベッドで寝て朝、なんてこともしばしば。 私は夜にあまり強くないので遅くても2時までには寝ますが、結構みんな 起きてます。就寝時間は次の日の授業によって変わるかもしれません。</p>

### 休日

8:00	<p><b>起床</b> 前日どれだけ夜更かししたかにもよりますが、午前中も有効に使いたいの で早めに起きようにはしています。</p>
	<p>課題の消化や (写真部なので) 撮影会に行ったり、図書館に行ったり…。 イーアスつくばなどのお店が自転車で行ける距離にあるので、 買い物などもします。 1日のほとんどを寝て過ごす人もいますので、使い方は自由!</p>
24:00	<p><b>就寝</b> 日曜日の夜は明日の準備をして早めに寝ます。</p>
	<p>※課題に追い詰められている時はこんなに穏やかな1日は過ごせません ※皆がこんなにTwitterやっているわけじゃありません!</p>

## ▣ 終わりに

以上で春日宿舎での生活の紹介は終わりですが、いかがだったでしょうか?ほんの一部でしたが、少しでも宿舎のことが皆さんに伝われば幸いです。宿舎はいいところも悪いところもありますが、それに慣れてしまえば部屋は自分の城。近くに友達がいるので何かがあったときも安心です。ぜひ、春日宿舎をご検討ください!

# アパート

情報メディア創成学類

みなさんこんにちは。この文章を読んでいるみなさんは、受験生の方も、そうでない方も、筑波大に少なからず興味を持っていらっしゃる方ばかりだと思います。ここでは僕が、筑波での生活、とりわけ春日周辺でのアパート暮らしについて書いていきます。研究学園都市つくばでの一人暮らし…懂れますよねえ…ね？ってことで、紹介させていただきまーす!!!

## 田 メリット

- 水回りが自分専用だ!!  
まあ当たり前です。春日の宿舎はシャワー、トイレはもちろん洗面台も共用です。水回りを気兼ねなく使えるのは嬉しいことこの上ないです。
- お湯も出る!!  
蛇口からお湯が出るのは冬になるとありがたいです。
- 断然広い!!  
部屋のレイアウトの自由度が高いし、いろんなものが置けますね…等身大のフィギュアとか…。
- 自分の城だ!!  
一人になれる時間が宿舎より約束されていると思います。人の気配が少ない分落ち着くという説もあります。
- 友達を呼べる!!  
映画の鑑賞会とかね、鍋パーティーとかね、やってみたいですね!!  
(…やってみたいなあ…いいなあ…)
- 宿舎より静かだ!!  
もちろん場合によりますけどね。

宿舎とアパート、どっちがどういいのかわからない。  
そんなあなたにお教えしましょう。

## 田 デメリット

- 孤独を感じることもある…  
宿舎民「集まってゲームなう」僕「(いいなあ…)」ってなります。さみしいです。
- 家賃や光熱費や水道代が高い…  
当たり前ではありますね…どちらかといえば宿舎が安すぎるんでしょうね。
- 宿舎よりちょっとだけ大学から遠い…  
何かを取りに戻るのは少し面倒です。
- 周りの部屋にちょっと気を遣う…  
隣人がすぐそばにいますからね、最初のうちは慣れないぶん余計に気になります。

## ▣ アパートの賢い選び方

さもアパートを賢く選ぶ方法を知っているかのような物言いですが、正直一番参考になるのは僕ではなくてインターネットです。「つくば 春日 アパート」で検索してください。いきなり不動産屋に飛び込むより、はるかに多くの物件を参照できます。ネットで良い物件を見つけてから不動産屋に行く、とか同じくらいの物件を不動産屋で探す、とかしたほうが損しないはずですよ。

あとは不動産屋では住みたい地区の様子を聞いたほうがいいと思います。治安のよさ、食料品店などの情報は、地区周辺に詳しい人、つまり業者がいちばん良く知っているのではないかと思います。

## ▣ 僕の場合

まず、どうしてアパートにしたかということからです。僕は後期試験で合格したので、入学式までの準備期間が短く、早めに住む場所を決めておきたいと思ったことと、何よりアパートのほうが自由度が高いと思ったことが大きな理由です。ただ、正直なところ、大学の宿舍の抽選のシステムや、つくばのアパートの相場などを調べていなかったのも、もっと慎重に考えておくべきだったとも思います(アパート選びに失敗したら大変なので)。

次に日常生活についてですが、実生活から思ったことは、

- ・ 1階に住みたかったなあ…  
部屋の出入りが圧倒的に楽だと思います。
- ・ 東側に窓があると最高だ!!  
朝日で目が覚める健康的な生活を送れます。日当りは重要ですね。

といったところでしょうか。住んでから気付く点が多いので、物件は慎重に選ぶことをお勧めします。

## ▣ 終わりに

大学生生活の参考までにとアパート生活について紹介してきましたが、はたして参考になったでしょうか??

ただ、僕がみなさんに言えることはこれですよ。みなさん、大学生生活超楽しいですからね!!今のうちから覚悟しといたほうがいいですよ!!まだ志望校が決まっていない人もいると思いますが、夢の大学生生活、志望校目指して頑張ってくださいね!!

ということで以上、アパート生活についてでした~!!

★わすかばらんど★  
一夢を抱いて送る毎日を一

# 自宅通学

情報メディア創成学類

宅通：自宅通学の略であり、多苦痛とも書く。宅通民は筑波大学全体で2割しかいない。

茨城県に近いところに住んでいる方はおそらく自宅から通うことを考えている人がほとんどだと思います。ですが、上記のように「俺宅通なんだ」と、言えば「こっちにすまないの？」だの「めんどくさくない？」だのと全否定されることもしばしば。ですが、方法さえわかれば宅通民でも楽しく大学生活を送ることができます。この記事を読んで、自宅通学の参考になれば幸いです。

## 田 メリット

上記にも書いた通りつくばの人に宅通について聞くとかなり不便なように思えてきますが宅通には結構大きなメリットが多数あります。具体的にあげてみると、

- 衣食住が確保されてる
- 家事を分担することができる  
一人でするとかなり大変です
- (寝坊したらとんでもないことになるので) 健康的な生活リズムを作ることができる
- 行動範囲が広い店には困らない  
つくばは趣味で物を集めようとする結構店が少ないです
- 何かが必要になったとき家で準備することが可能  
PSPとか結構みんなもってきてないですよ。コントローラーとか持ってくると喜ばれます

このように宅通最大の利点は今まで通りの生活ができるということです。いざやりたいことがあっても手元に物がなくてことは起こらないでしょう。

## 田 デメリット

もちろん宅通は大変といわれるだけあってマイナス面もあります。具体的にあげてみますと、

- 寝坊した場合一限は確実にアウト
- 筑波に住んでいる人が寝ている時間から活動を開始しなくてはいけない
- 急な誘いに対応できない
- 準備なしでは夜のイベントに参加できない (終電が結構早いため)
- 課題の中には学校でしかできないものがある。  
先にもあげたように終電が早いため、ある程度覚悟することが必要

これらの中でも特に最後のものは結構きついです。一個でも抜けると単位にかかわるようなものもあります。ですが、対策方法もちろんあります。

## 田 対策

- 一番重要なこととしてまず泊めてくれる友達を作ること
- (準備できるなら) 寝袋を持っておくこと
- ロッカーをフル活用すること  
春日宿舎に入っていなければ借りることができます。  
結構でかいので緊急時に必要なものをいれておける。
- 準備なしでは夜のイベントに参加できない (終電が結構早いため)
- 筑波大学はとても広い。なので、自分がいるところから自転車を置いているところ、さらにそこから歩いて駅まで何分かかかるかを把握する  
特に課題ができる場所からの距離はかなり大切です

以上のように対策する方法はあるのですが、一限がつらいということだけは対策することができません。まずは、最低限快速がいつ出発するかを把握しましょう。

## ▣ 一日の過ごし方

### 平日

6:00	起床 慣れると意外と苦じゃない	
7:00	家をでて駅へ 電車のなかでは大体アプリのイベントのチェックで必死	
8:00	つくば駅到着 ここからは春日だったり、本学だったりと向かう先があるのですが どちらもこの時間で OK	
	<u>同好会なし</u>	<u>同好会あり</u>
// 授業終了 (5 限) //		
17:30		同好会の活動場所に到着 同好会開始 (同好会の日は五限までしかない日)
// 授業終了 (6 限) //	友達としゃべるか、帰るか、 課題をやるかを決める	
19:30	早ければこれくらいには家につく おいしい食事をいただく	同好会終わり おしゃべりタイム
21:00	だいたいこのくらいまで勉強 あとは遊びます	
21:30		家到着 ご飯を食べる
25:00	満足して就寝	課題をやって寝る

### 休日

8:00	起床 いつもより寝られて満足
18:00	特にすることがなければこれくらいまでずっとゲーム 現実に気づき、課題開始
19:30	ご飯食べて課題の続き
23:00	疲れ果てる マンガ読んだり、ゲームしたり
25:00	明日もがんばりましょう

## ▣ 終わりに

宅通だからイベントに参加できない？そんなことはありません。私は大学内の複数のイベントの実行委員会に参加しました。準備さえ行えばどのイベントにも参加することができます。あとは根気よく生活していきましょう。宅通には宅通なりの強みがあります。ですがそれは家族の力があってのことが多いので、しっかり感謝しましょう。宅通のみなさん、自分なりの生活をつくって楽しい春日ライフを送りましょう！

# 7. 学費・宿舍・奨学金

平成 27 年度の授業料・宿舍費・奨学金について簡単に説明します。

## ⊕ 学費

入学料	282,000 円 (入学時納付)
授業料 (第 1 期・第 2 期)	535,800 円 (5 月末日納付)
年間授業料合計	817,800 円 (11 月末日納付)

一年次には入学料 + 授業料で約 80 万前後の納入、二年次以降は年間約 50 万ずつの納入になります。ただし、条件がそろった場合、授業料の全額または一部免除及び入学料の全額・半額免除制度があります。今年度より必要書類提出の締め切りまでの期間が短くなったので、申し込みを考えている人は早めに書類を学生支援室に取りに行きましょう。

## ⊕ 奨学金

毎年 4 月中旬に日本学生支援機構申し込み説明会が開かれます。その時に配布される資料に必要事項を記入し、大学に提出することで奨学金の申請ができます。

こちらで書類配布から締め切りまでの期間がとても短く、保護者や親類に記入してもらわなければならない箇所もあります。奨学金を申請しようと思っている人は早めに奨学金について詳しく調べ、書類を受け取ったらなるべく早く書類を完成させ、余裕を持って提出した方が良いでしょう。

日本学生支援機構の公式 Web ページ <http://www.jasso.go.jp/>

## ⊕ 春日宿舍

寄宿料	8,000 円 / 月	
共益費	7,035 円 / 月	※基本使用料 (寄宿料 + 共益費) 15,035 円 / 月
保証金	30,000 円	
年間合計	210,420 円	

宿舍ではガス代・水道代は無料ですが、別途電気代は発生します。しかし、いくら電気を酷使しようとも月に 1,000 円を超えることは滅多にないというほど安いです。

# 8. サークル

## ⊕ どんなサークルがあるの？

筑波大学のサークルは、そのほとんどが

- ・文化系サークル連合会 (<http://www.stb.tsukuba.ac.jp/~bunsa/>)
- ・体育会 (<http://www.stb.tsukuba.ac.jp/~taikukai/>)
- ・芸術系サークル連合会 (<http://www.stb.tsukuba.ac.jp/~geisa/>)
- ・一般団体
- ・公認学生組織

のいずれかに属しています。逆にいうと、このいずれかに属していない団体はちょっと活動内容が不透明なところもあるので気をつけましょう (すべてがそうとはいえないかもしれませんが…)

どんなサークルがあるか、ですが、ちょっとありすぎてここには書ききれません…(´・ω・`)とにかく、なんでもできるのが筑波大学。運動にも芸術にも文学にも福祉にも、なんにでもチャレンジできます！

## ⊕ 学業やバイトとの両立

サークルをやっていたら他のことってできないんじゃないの…? と不安になっている皆さんも大丈夫、両立は可能です。

筆者もサークルもバイトもしていますが、単位は取っています。ただし、サークルには毎日のようにがちがちに活動しているところから、週 1 日のペースでゆるーく活動しているところまで様々です。バイトも同様。何を優先するのかをしっかりと決めて、サークルも選びましょう。

両立できるかできないかは自分次第かもしれません。大学生ですからね。

## ⊕ 「部」と「サークル」

サークルを探していると、「〇〇部」というものとそうでないものがあることに気が付きます。

これはあくまでも筆者のイメージなのですが、部のつくものはわりとがちでやっているイメージ。そうでない団体はちょっとゆるめなイメージ。あくまでもイメージ。部がつかなくても結構ハードに活動している団体ももちろんあります。

ちなみに、医学〇〇部という団体が多く見受けられますが、これは医学群以外の学生も参加できます。新歓が豪華なので一度は行ってみたいかも。

## ⊕ 新歓について

春になると、多くのサークルが新入生歓迎会、略して新歓を行います。新入生にとってはタダ飯のチャンス! (笑) 4 月の食費が恐ろしく安くなる、なんてことが普通に起こります。もちろん、自分の入りたいサークルの雰囲気を知る大事な機会です。ただし、新歓に便乗して怪しい団体から声がかかることもあります。自分の身は自分で守りましょう。

新歓の様子や参加団体は筑波大学新入生歓迎祭のページ (<http://www.stb.tsukuba.ac.jp/~shinkan/>) から確認することができます。気になった人はチェックしてみてください。

# 9. アルバイト

## ⊕ アルバイト時期

この項目を見ているみなさんの大多数はきっと「バイトは大学生活に慣れてから…」と考えているのではないのでしょうか？ はっきり言います。「甘い」です。まだいい、テストが始まるから。サークルの合宿があるから。新学期の授業に慣れてから。どんどん先延ばしにしてしまった結果何もしない、なんてことになりかねません。また、夏休みに始める人も多いようですが、学生にとって一番の稼ぎ時である長期休暇を研修期間という時給が低い状態で迎えることも損をしているように思えます。

大学生活もバイトをしている、していないによって大きく様相を変えてきます。正直いって、一年の春Cモジュールなんてものは、バイトをしていないと、暇で暇で仕方ありません。逆に、バイトをしていることで課題提出まで効率的に課題に取り組むことが身に着いたりします（土日にバイトがあるため「土日にまとめてやろう」などと言いつけないので）。

また、大学生活に慣れるように、バイトも慣れてしまえばどうということはありません。むしろ楽しくなってくる時もあります。楽しいことをやってお金をもらえるなんて最高じゃないですか？

## ⊕ 給料について

いかなる条件でバイトをしているかによって異なりますが、土、日6時間勤務でほしい2～3万というところが目安となるでしょうか。週5、6勤務すれば万越えも夢ではないです。

しかし、大事なことを忘れないでください。優先すべきはお金ではなく、己の健康や、学業であります。このことを忘れずみなさんも楽しいバイト生活を送ってほしいと思います。（とある先輩の感想です）

## ⊕ バイトの種類

### ● 飲食店

まかないを食べることができたりします。キッチン業務は時給800円～900円ぐらいが相場。若干高めです。ホール業務はキッチンと違い接客業なので人とのコミュニケーション能力を求められます。キッチンより若干時給が低いところが多いです。割と競争率が高く、ホールで希望を出したのにキッチンしかあいておらず入れられるなんてことも。

### ● 塾講師・家庭教師

大学生が行う一般的なバイトの中ではトップクラスの時給を誇ります。しかしその実、報告日誌作成、授業準備等、時給が発生しない業務時間が多かったりするので他の一般的なバイトとたいして差がなくなってしまうたりもします。また営業形式上毎週決まった時間に拘束されるため、急に予定が入ったときなど対応力が低いのがネックです。

### ● ショップ販売員

時給もそこそこ、服も汚れることはまずないです。まかないがないため働くたびに昼食代がかさむということがデメリットかもしれません。時給も飲食店と遜色ないところが多く割とお勧めのバイトです。

他にも、大学図書館や心理実験の被験者など、筑波大学ならではのバイトもあります。自分の興味で探してみるのも面白いですよ！

# 10. 筑波大学の1年間

- |   |   |
|---|---|
| <p>4月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 宿舍入居<br/>宿舍は春日、追越、一の矢の各地区ごとに入居日が決まっています。入居日のイオンには臨時バスが出るほど。</li> <li>● 入学式・新入生歓迎祭<br/>各学類やサークルで新歓祭が行われます。色々なイベントに参加すると友だちが増えるよ！</li> </ul> <p>5月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 春季スポーツ・デー<br/>春季と秋季の年2回行われる行事。有志参加で、様々な球技やミニゲーム、スポーツ写真コンテスト等も行われます。運営しているのはスポーツ・デー委員会です。</li> <li>● やどかり祭<br/>宿舍祭ともいいます。1年生が出店していることが多いお祭りです。これを通して恋の季節がやってくるとか来ないとか。まあ人によりけりですね。</li> </ul> <p>6月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 春 AB モジュール期末試験<br/>一年生最初の山場。春 AB モジュールに授業が集中しているのできついです。これを乗り越えると授業が比較的少ない春Cモジュールに突入します。友だちと協力して生き抜きましょう。</li> </ul> <p>8月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 春 ABC モジュール期末試験</li> <li>● 夏季休業</li> </ul> | <p>10月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 全学停電<br/>安全点検のため、毎年、全学規模で停電があります。もちろん宿舍も真っ暗です。冷蔵庫…orz</li> </ul> <p>11月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 学園祭<br/>通称「雙峰祭（そうほうさい）」。<br/>3日間にわたって行われる、大規模なお祭り。<br/>筑波大の広大なキャンパス中で模擬店などが出店される。<br/>お店を出しているのはサークルだったりクラスだったりゼミだったり。<br/>運営しているのは筑波大学学園祭実行委員会（通称は実委）の現役生やOBやOG。</li> <li>● 秋季スポーツ・デー<br/>春季スポーツ・デーとほぼ同じイベントです。多少種目が変わります。</li> </ul> <p>12月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 秋 ABC モジュール期末試験</li> <li>● 冬季休業</li> </ul> <p>2月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 秋 AB モジュール期末試験</li> <li>● 春季休業</li> </ul> <p>3月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 卒業式</li> </ul> |
|---|---|

# 11. 筑波大学の施設

## ① 一の矢宿舎

第二、第三エリアに通う学生が使うことの多い宿舎です。キャンパス内で最北端に位置するこのエリアは春日から最も離れた施設になりますが、遊びに行ったりするので訪れる機会は意外と多いです。

## ③ 第三エリア

国際総合学類、工学システム学類、情報科学類などが使用しているエリア。第二外国語の一部はここで授業が行われており、また同じ情報学群に属する情報科学類が主に使用しているため、比較的春日民も訪れることが多いです。

## ⑤ 大学会館

講堂や会議場などが配置された建物です。入学式などの式典や全学規模での説明会はここで行われます。

## ⑦ 追越・平砂宿舎

主に医学エリアや体芸エリア、第一エリアに通う学生が使っている宿舎です。やどかり祭の開催地ともなります。一部の知識・メ創の学生もここに配置されています。

## ② 第二エリア

日本語・日本文化学類、障害科学類、生物学類などが使用しているエリア。春日民が立ち入ることはそれほど多くありません。大変入り組んでいるので、たまに訪れた春日民が迷子になって発見されることが割とよくあります。

## ④ 第一エリア

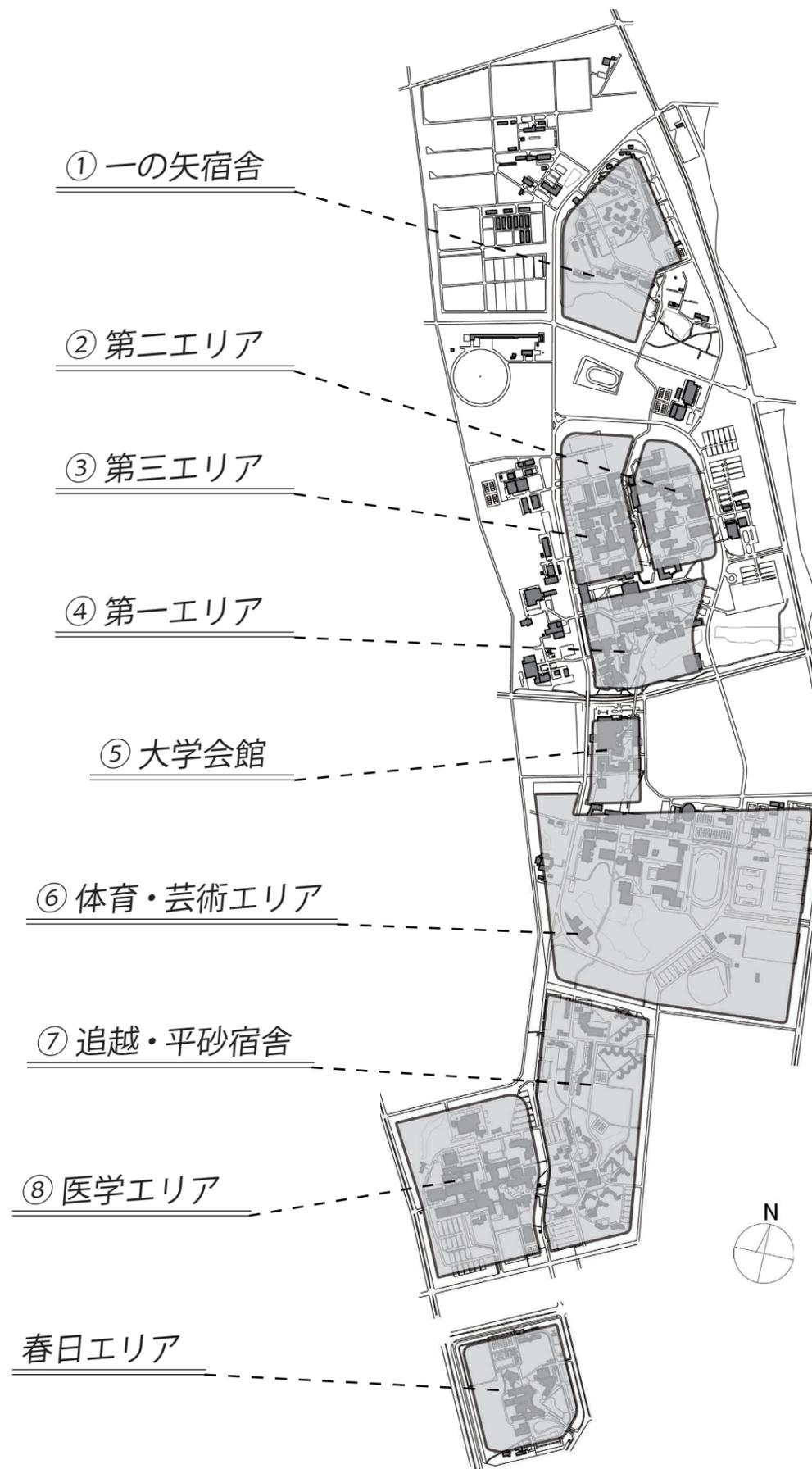
人文学類、地球学類、数学類などが使用しているエリア。建物が棟ごとに色分けされているので大変鮮やかです。講義が集中している時間帯は辺り一面が自転車で埋め尽くされます。中央図書館の手前があるので春日民も通過することが多いです。

## ⑥ 体育・芸術エリア

体育専門学群、芸術専門学群が主に使用しているエリア。さすが芸術、建物が白くて綺麗です。

## ⑧ 医学エリア

その名の通り医学類、看護学類、医療科学類の使用するエリア。大学病院もこの中にあります。他の学類の学生が中に入るには特別に許可を得る必要があり、謎に包まれたエリアです。



# 12. 春日エリアの施設

## ① 体育館

図情バレー部や図情バスケ部が使用しています。が、はっきりいってしまうと春日民はあんまり利用しないかも。

## ③ 講堂

ステージと客席の備えられた中規模ホールです。説明会のときや一部の集中講義ではこの施設を利用しますが、あまり利用頻度は高くありません。

## ⑤ ラウンジ

食堂のとなりにあるフリースペースです。ちょっとした集会や会議のときはここに集まります。パンやカップラーメンなどの自動販売機が置いてあり、24時間開放されています。学生の強い味方です。

## ⑦ 春日食堂

豚丼やカレー、うどんの他に日替わり定食などがあります。価格は300～500円くらい。本学の食堂よりは混んでいないと思います。営業時間も他の食堂より短いのでいろんな意味でレアかも！

## ⑨ 情報メディアユニオン

大学院の研究室があるほか、様々なメディア関連機材が配置された「クリラボ」なる素敵な部屋があります。知識情報・図書館学類生は二年生、情報メディア創成学類生は一年生のうちからここで講義があります。ここで講演会や発表会が開かれることもあります。

## ② 春日宿舎

主に春日エリアの学生が使っている宿舎。詳しくは「生活体験記」参照。

## ④ 書籍部

教科書、雑誌や文房具などを販売しています。全て定価の1割引です。実は春日の書籍部だけ漫画が置いてあるんです。もちろん1割引です。

## ⑥ シンデレラ階段

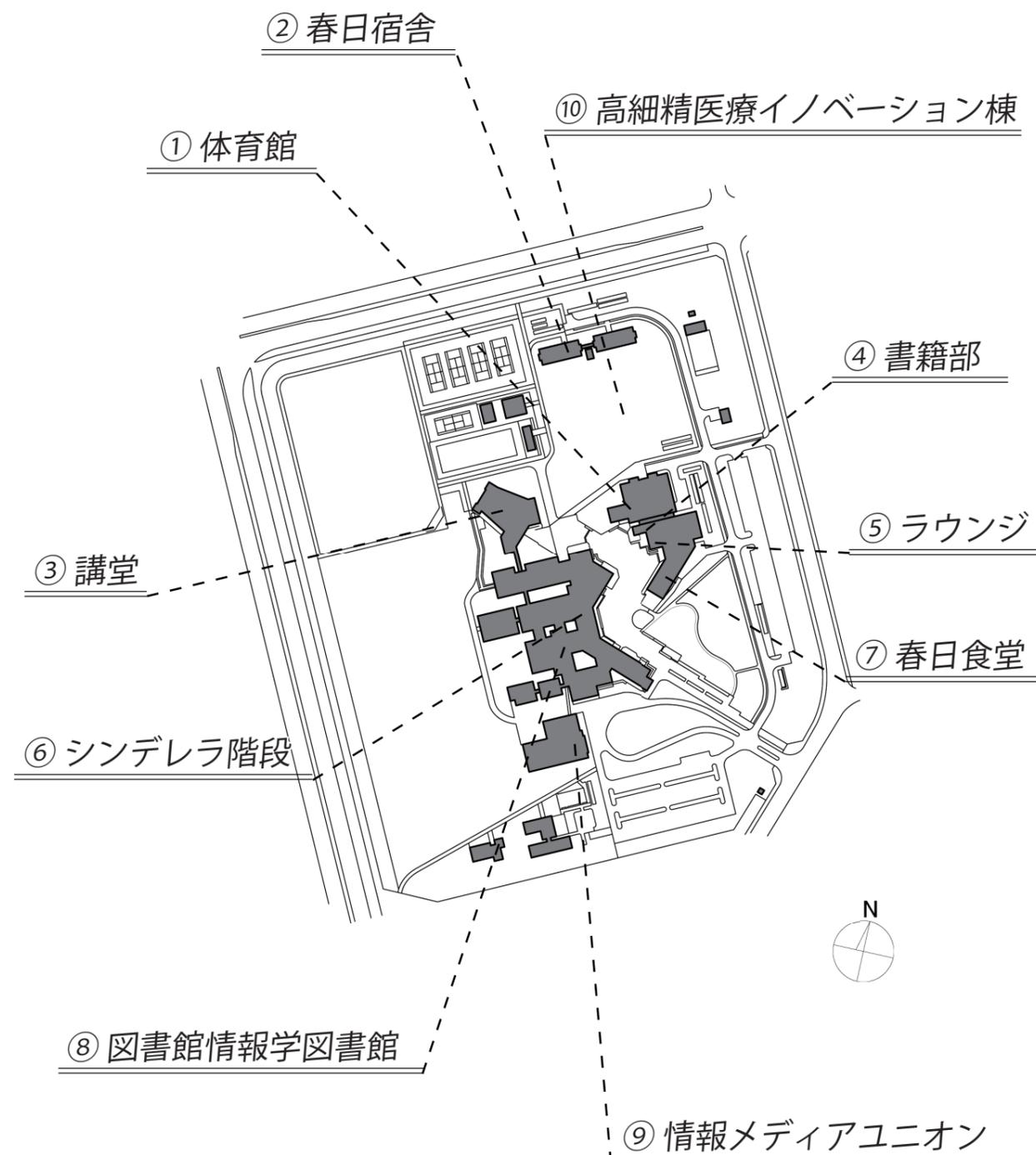
7B 講義棟のロビーに備えられた階段の通称です。あんまりシンデレラっぽくはない。よく学生の集合場所にも指定されます。

## ⑧ 図書館情報学図書館

「筑波大学附属図書館」のページを参照。

## ⑩ 高細精医療イノベーション棟

最近工事が終了し、その全貌が明らかになった建物。非常に綺麗な建物ですが、医学関係の施設であるため春日民にはあまり関係がないといわれています。



# 13. 筑波大学附属図書館

## ⊕ 中央図書館

第一エリアと第二エリアの間にある、筑波大学内で一番大きな図書館です。5階建て。図書だけでなく雑誌や映像資料も豊富です。スタディスペースもあり、授業と授業の合間に勉強する人も多です。基本図書館にはパソコンもあるので、パソコンを使わなければならないレポートも図書館にこもって仕上げることができます。ちなみに入り口にスターボックスがあり、お腹をすかせた学生たちをいつも誘惑しています。

## ⊕ 体育・芸術図書館

体芸エリアにある図書館。春日の学生は体育の後にたまに利用したりする人もいます。他の図書館よりデザイン性のある造りをしている(気がする)ので、見学に行くと面白いと思います。

## ⊕ 医学図書館

医学エリアにある図書館。残念ながら筆者は行ったことがありません。行ったことがある人に聞いたところ、勉強している人が多いので、モチベーションが上がるそう。他の図書館とは開いている時間が違ったりすることがあります。

## ⊕ 図書館情報学図書館

春日エリア内にある図書館。通称 図情図書館。2階建て。図書館学に関する図書や雑誌を多く所蔵しています。小規模ですがこもりやすいです。

- 春日ラーニングコモンズ (KLC) ——— 情報資源経営主専攻 逸村研究室 榎本翔  
図書館情報学図書館に併設されている学習支援スペースです。全学計算機や自由に使えるディスプレイ、ホワイトボードなどが配備されており、誰でも利用できます。  
また、平日の午後には講義や履修に関する質問を受け付けるチューターが在室しています。  
KLCWeb サイト：<http://klis.tsukuba.ac.jp/lc/>

## ⊕ 大塚図書館

東京キャンパスにある図書館。学類生のうちはあまり利用することはないと思われます。

# 14. 用語集

## ⊕ あ行

- 天久保〔あまくぼ〕  
地名。筑波大生が多く生活している。
- アパ民〔あばみん〕  
アパートに住んでいる人。
- 1学・2学・3学〔いちがく・にがく・さんがく〕  
それぞれ第1エリア、第2エリア、第3エリアの通称。学群・学類再編前のナンバー学群の名残。
- 一の矢〔いちのや〕  
地名。または、一の矢宿舎。春日の人にはあまりなじみがない。団地のように広い。猫が人懐こい。
- イノベーション棟〔いのべーしょんとう〕  
春日エリアで最も高く、きれいな建物とされている。しかし、医学関係の施設であるため、春日民はあまり関係がない……
- エクストリーム移動〔えくすとリーむいどう〕  
春日と本学の間を15分(休み時間)で移動すること。遥かなる旅路……
- 追越〔おいこし〕  
追越宿舎。知識情報・図書館学類と情報メディア創成学類の学生が入ることもある。

## ⊕ か行

- 学内バス〔がくないばす〕  
正式名称 学内循環バス。ループ(ら行参照)を走る。筑波大生は年間8,600円で乗り放題。時間通りに来ないことが多い。
- 春日〔かすが〕  
1. つくば市内の地名。  
2. 筑波大学筑波キャンパス春日エリアのこと。  
3. 知識情報・図書館学類と情報メディア創成学類の総称。
- 春日食堂〔かすがしょくどう〕  
春日エリア内にある食堂。通称かすしょく。味は日進月歩。ぜひお試しあれ。
- クラ代〔くらだい〕  
クラス代表者会議。春日地区では、知識情報・図書館学類と情報メディア創成学類が合同で春日地区クラス代表者会議として、春日エリア内のあれこれを改善するため、日々活動している。
- 掲示板〔けいじばん〕  
授業やテストに関する情報が貼られる掲示板。重要な情報が掲示されるので、こまめにチェックしよう。
- 粉クリ〔こなくり〕  
体芸エリア・2学・3学に存在するパン屋。美味。朝にはバイキングをやっている。

## 田 さ行

### ● 散歩〔さんぽ〕

入学式前に春日から本学の前まで見学をしに行くこと。新入生歓迎委員会の企画である。やるかどうかはその年の委員次第。宅通の人はこのことを知らずに入学してくることが多いので、入学前はWeb等で情報を得ておこう。

### ● 実習室〔じっしゅうしつ〕

機室、サテ室とも。パソコンが沢山置いてある教室。課題をやったり、娯楽のためにパソコンを使いにくたり、その使用目的はさまざま。

### ● 宿舎民〔しゅくしゃみん〕

宿舎に住んでいる人のこと。詳しくは生活体験記で！

### ● シンデレラ階段〔しんでれらかいだん〕

1階と2階をつなぐ、大きな階段。その形状からシンデレラ階段と名がついた。待ち合わせによく使われる。王子様は…心の中に。

### ● 全代会〔ぜんだいかい〕

全学学類・専門学群代表者会議の略称。通称Z(ぜっと)。生徒会の化け物のようなイメージ(あくまでもイメージ)。この人たちのお陰で筑波大生は充実した生活が送れている(はず)。

### ● 全学計算機〔ぜんがくけいさんき〕

筑波大学の学生が使えるパソコンのこと。パソコンを計算機という呼び方に慣れていない人は、最初は何のことだかさっぱりわからない。結構ハイスペックで色々なソフトも入っているので、授業以外に使ったりすることも。

### ● 雙峰祭〔そうほうさい〕

11月頃に3日間にわたって行われる、筑波大学の学園祭。実行委員は学実委と呼ばれる。1日では回りきれないほど規模が大きい。

## 田 た行

### ● 宅通〔たくつう〕

自宅から大学へ通ってくる人の通称。詳しくは生活体験記で。

### ● 知識〔ちしき〕

知識情報・図書館学類の略称。klis(けーりす)と呼ばれることも。

### ● Twitter〔ついったー〕

春日民の大事な情報ツール。ツイ廃、ふぁぼ、RT、TL、規制という言葉が常識となっていく日常。春日は筑波内でもツイッター普及率がすごい。先生方もやってらっしゃいます。また、知識情報・図書館学類の非公式のアカウントもありますのでご参照ください。

### ● つくばっく〔ーー〕

帰省先からつくばに戻ってくること。

### ● TX〔ていーえっくす〕

つくばエクスプレスの通称。秋葉原まで最速45分。宅通の中で利用する人もいる。

### ● 図情図書館〔とじょうとしょかん〕

図書館情報学図書館の略称。同じく筑波大学附属図書館として、中央図書館、医学図書館、体芸図書館などが存在する。勉強したり昼寝したり、使い方は人それぞれ。

## 田 な行

### ● 7A205〔ななえーにーまるご〕

春日エリア内で最も大きな教室。知識情報・図書館学類では1年生の間はここで授業を受けることが多い。

## 田 は行

### ● 平砂〔ひらすな〕

平砂宿舎の通称。グランドスラムと呼ばれる部屋は色々な意味で有名。

### ● ペデ〔ぺで〕

ペDESTリアンデッキの略称。筑波大学の中を縦にまっすぐ通る。自転車と歩行者が通る。本学(二つ下の項目参照)への行き来の際によく使う。

### ● ほけかん〔ーー〕

保健管理センターの略称。学生は基本的に無料で診察を受けられる。

### ● 本学〔ほんがく〕

第1、2、3エリア等の通称。春日エリアから自転車で約15分。1年生だと授業だけでかなりの時間を過ごす。

## 田 ま行

### ● マジック〔まじっく〕

行事等で苦労を共にした男女がカップルになったりすること。「やど祭マジック」、「クラ代マジック」、「雙峰祭マジック」などがある。詳しくは入ってから先輩に聞くと良い。

### ● メ創〔めそう〕

情報メディア創成学類の略称。創成、mast(ますと)と呼ぶ人もいる。

## 田 や行

### ● やどかり祭〔やどかりさい〕

入学して初めての大きな行事。宿舎祭とも言う。主に1年生を中心に出店したり御輿を作ったりする。ミスコン、もとい「ゆかコン」なるものが開催される。

## 田 ら行

### ● ラーニングコモンズ〔らあにんぐこもんず〕

通称LC。図情図書館の中に存在する。院や、学類の先輩方(チューター)が、課題の相談などにのってくれたりする。パソコンなども置いてある。

### ● ラウンジ〔らうんじ〕

春日食堂横にある24時間自由に使えるスペース。パンやカップラーメン等の販売機がある、学生の強い味方。

### ● ループ〔るうぷ〕

学内バスが通る道路のこと。けっして舗装は綺麗ではないが、ペデは坂道が多いので自転車だとこちらの道を好んで通る人が沢山いる。雨の日は水が溜まりやすいので水没に要注意。

かすがらいふ 2015 年度 夏号

2015 年 7 月発行

---

---

### 編集委員

Web 版のため省略

---

---

### 特別寄稿

平賀 譲 先生 (情報メディア創成学類長)

長谷川 秀彦 先生 (知識情報・図書館学類長)

Web 版のため一部省略

---

---

### Special Thanks

情報メディア創成学類の教職員の皆様

知識情報・図書館学類の教職員の皆様

図書館情報エリア支援室の皆様

春日地区クラス代表者会議

過去のかすがらいふ編集委員の皆様

その他、ご協力いただいたすべての皆様



あなたの夢が叶いますように